

環境経営レポート

2020年版

〈2019年3月1日～2020年2月29日〉



来ハトメ工業株式会社



1.	はじめに	2
2.	会社概要及び環境報告の基礎情報	3
	1) 登録事業者の概要	
	2) 沿革①(当社73年の軌跡)	
	3) 沿革②(当社環境活動のあゆみ)	
	4) 当社従業員紹介	
3.	 経営責任者のコミットメント	13
	1)  環境経営方針	
	2)  品質方針	
	3)  2019年度の変更点	
4.	 実施体制及びガバナンス	15
	1)  EA21環境経営組織図	
	2)  役割責任及び権限	
	3)  2019年度の変更点	
5.	PDCAで見る環境関連法規遵守の取組	17
	1)  法規制遵守関連の環境経営計画と関連SDGs	
	2)  法規制遵守状況のチェック結果	
	3)  違反・訴訟の有無	
	4)  法規制の遵守状況の評価と次年度以降の取組内容	
	5)  法規制遵守の取組に関する代表者の評価・指示	
6.	PDCAで見る緊急事態の想定とその対応策	21
	1)  想定させる緊急事態	
	2)  環境経営計画とSDGs	
	3)  緊急事態の対応及び訓練状況	
	4)  緊急事態の想定・訓練の評価と次年度以降の取組内容、事務局からの提案	
	5)  緊急事態の想定・訓練に関する代表者の評価・指示	
7.	 数字で見る2019年度環境負荷の全体像	23
	1)  過去5年間の環境負荷の実績	
	2)  2019年度の実績と目標達成状況	
	3)  2019年度マテリアルバランス	
8.	PDCAで見る2019年度環境活動	25
9.	 代表者レビュー	55
	1)  全体的な感想	
	2)  指示	





来ハトメ環境トピックス2019 目次

①	新たな試み～2つのガイドライン適用の環境報告書作り～	12
②	エネルギー使用に関する長期戦略(Ⅰ)～2030年「夢のCO ₂ 排出量ゼロ操業」へのベストシナリオ～	32
③	エネルギー使用に関する長期戦略(Ⅱ)～2030年のワーストシナリオ～	36
④	エネルギー使用に関する長期戦略(Ⅲ)～10年後のために今、そしてこれからすべきこと～	38
⑤	通算3度目の「私のSDGs」ふり返り～3年間の成果と今後の課題～	42

アイコン (   ) の見方について

エコアクション21ガイドライン(2017年版)要求事項の適合性を明確にするために、主にタイトルの前等に4つのアイコン(Plan(計画)、Do(実施)、Check(確認)、Act(見直し))を付けています。

4つのアイコンは、それぞれ、以下の様な取組であることを示すものです。

-  : EA21ガイドライン要求事項1～6(計画の策定(Plan))に該当する取組であることを示します。
-  : EA21ガイドライン要求事項7～12(計画の実施(Do))に該当する取組であることを示します。
-  : EA21ガイドライン要求事項13(取組状況の把握及び評価(Check))に該当する取組であることを示します。
-  : EA21ガイドライン要求事項14(全体の評価と見直し(Act))に該当する取組であることを示します。

新型コロナと家事見習い

今回の新型コロナの流行は恐ろしいもので、私自身のまわりにも多くの影響が出ている。

先ず、義弟の古今亭志ん輔の国立演芸場の落語会が中止に追い込まれ、切符の払い戻しで大変な目に遭っているらしい。私も4月29日という旗日に当たるので大奮発して、いつもなら2枚手配するところを、今回は4枚手配し、中国語勉強仲間のお笑い大好き女性にプレゼントしたものの中止となり、残念がられることしきりであった。おまけに前から3列目の並びの席が取れたので、余計にコロナ憎しの気持ちが強い。

中国語と言え、毎週日曜日に草加の公民館での学習会があり、私も参加しているが、これも中止になっている。第一、公民館が閉鎖になっていて、教室が使えないし、電車で通うおじさん、おばさんが多く、コロナが怖くて、電車に乗れないせいもある。

会社の方も相変わらず曇り空で、16時に繰り上げ終業、毎月1~2回の半ドン、臨時休業が続いている。

コロナ騒ぎが始まってからますます調子が悪く、昼間から家に居ることが多い。私は、根が楽道家のせいで、最初はがっかり沈み込んでしまうが、一晩寝るとスッカランとして、今日は何か楽しみなことが起こるかも知れないと、昨日のことがウソみたいになる。家内が三年前に首の手術、去年の腎臓癌手術、大腿骨骨折の手術と続いて、今は腰ではなく肩から曲がって、ラクダみたいになっている。

「いつも背中に漬物石を背負っているみたいで、何をやっても根気が続かない」とこぼす。

どうせ長いこと家に居るのだからと、食事を妻に代わって受け持つようになって半年になる。元々、家事が嫌いではなく、色々と手を出していたが、食事はまだまだ新米で、大したこともできない。でも、やっているときは楽しくて、時間があっという間に過ぎていく。

家内がああの体になってから、平日の夜は生協の弁当が届くが、ちょっと少ないので、冷奴、大根おろし、サラダ、ワカメの酢の物、山芋のすりおろし等、簡単なものを添える。だんだん手が込んできて、冷奴のショウガは、その都度すり、大根おろしにしらす干しを乗せ、サラダは四~五種類の具を彩りよく盛り付け、ワカメの酢の物は、キュウリの薄切り、しらす干しをあしらひ、山芋は磯辺巻きにもする。

それやこれやでコロナのお陰で、身辺に色々影響が出ているが、幸い、私とその家族、社員さん、パートさんとその家族に感染の話が無い。

母が元気な頃、時々、民謡の三味線の稽古に付き合わされ、唄わされたのを思い出す。

~アレハエーエ エトソーリャ 大漁ダァーアーエー アーソレソレ

色々嫌なことがあるときに、憂さ晴らしに唄っていた、大漁節のお囃子である。

先日、食事を作っていたときに、節は違うが、何となく口ずさんでいたコロナ退散の願いを込めたお囃子である。

~コーナ コーナ コロ コロ コーナ

ソロソロ イーダロ イッテクレ ハァー ソレ ソレ

来ハトメ工業株式会社
取締役会長(EA21代表者) 来 満

2.会社概要及び環境報告の基礎情報

1) 登録事業者の概要

(1) 事業者及び代表者名(報告対象組織)

事業者名：来ハトメ工業株式会社

代表者名：取締役会長 来 満

(2) 所在地(本社・工場共に下記住所)

〒 340-0822

埼玉県八潮市大瀬203-1

URL <http://www.rai-hatome.co.jp>

(1)及び(2)の全組織・全活動をエコアクション21への取組の対象範囲とする

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者名：環境管理責任者 石原 隆雅

連絡先：TEL 048(995)5138 FAX 048(996)0580

e-mail yashio@rai-hatome.co.jp

(4) 事業内容

アルミ製コンデンサ部品及びその他の部品類の製造・販売

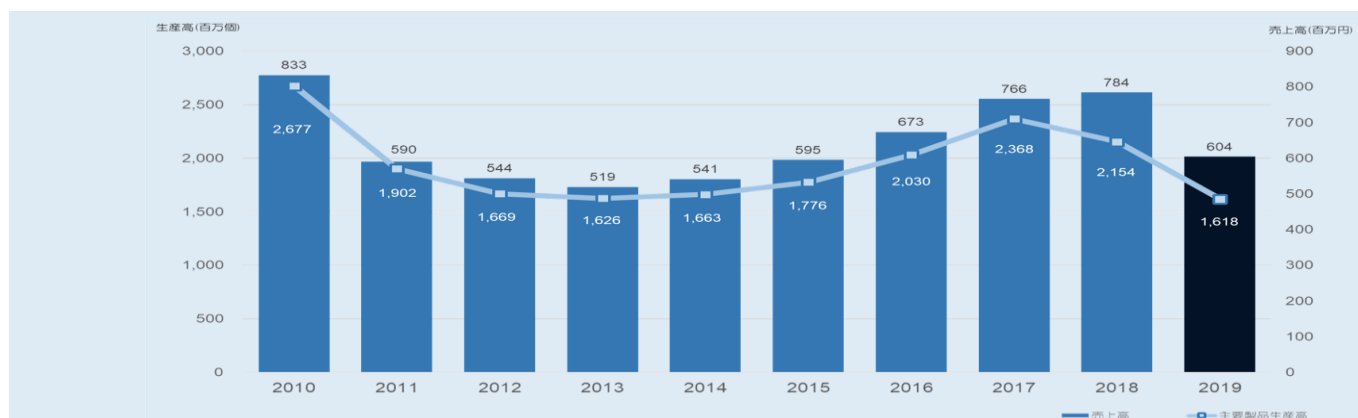
(5) 創業年月日

1946(昭和21)年3月6日

(6) 資本金

3,000万円

(7) 事業規模



項目	年 度										単位
	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	
主要製品生産高	2,677	1,902	1,669	1,626	1,663	1,776	2,030	2,368	2,154	1,618	百万個
売上高	833	590	544	519	541	595	673	766	784	604	百万円
従業員数	43	41	41	40	38	37	36	37	35	33	人
事業所延床面積	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	m ²
事業所敷地面積	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	m ²

昨年度決算短観及び今後の展望

昨年度は、2018年末に始まった米中貿易戦争による電子部品受注減の影響をもちに受け、売上高ベースで22%減と大幅に売り上げを落とす結果となりました。

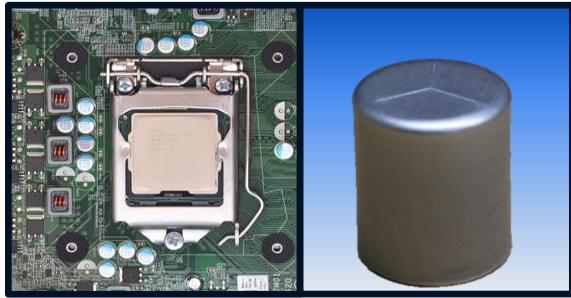
しかし、足元では新型コロナによる影響への懸念とい

った不安材料はあるものの、5G通信技術の普及やそれに伴う自動車業界の大きな変革(CASE革命)など、楽しみな材料も多数見受けられます。

お客様への丁寧な対応と的確な営業活動、そして業界最高水準の環境への取組を更に発展させ、チャンスを実にものにできるよう、全力で取り組みます!

(8) 当社主力製品並びに主要取引先

● アルミ電解コンデンサ用アルミケース(売上構成比99%)



我々の豊かな暮らしを支える家電製品や自動車。これらの心臓部とも言うべき基盤部分で、実は当社の製品が活躍していることを、皆様は御存じでしょうか？

電子基板のあちこちで、独特の存在感を放つアルミ電解コンデンサの骨格部分とも言うべきアルミケースこそ、当社の主力製品！なのです。

主要御取引先：日本ケミコン株式会社様他

● 建築金物(写真左)、香水プッシュボタン・ネジ(写真右)(売上構成比1%)

当社が得意とする「アルミ深絞り加工」は、アルミ材料を円筒形に加工する技術。

このアルミ深絞り加工の応用によって誕生したのが、これらの製品群。

主要御取引先： カネダ株式会社(建築金物)

(有)都プレス工業所(香水)

上記御取引様を通じ、それぞれ、大手メーカー様へ納入しています。



(9) 当レポート(環境経営レポート2020年版)の報告対象期間

2019(平成31)年3月1日～2020(令和2)年2月29日

(10) 当レポート(環境経営レポート2020年版)の基準・ガイドライン等

- エコアクション21ガイドライン2017年版(環境省) 及び
- 環境報告ガイドライン2018年版(環境省)

(11) 当社環境報告の全体像

当社では

- 紙媒体としての発行(原則最新版のみ)
- 自社ウェブサイトにおける環境報告(過去発行の全てのレポートを公開)
- 外部サイト(中央事務局HP、CSR図書館.net)でのレポート公開

と様々な方法、媒体にて過去分を含め積極的に環境報告を行っております。

下図を御参照の上、お好みの媒体から当社環境報告に触れて頂ければ幸いです。

当社環境報告のモットーは「丁寧な情報開示」

紙媒体



こんな方にオススメ

- 紙媒体が好きだ
- 書き込みしながら読みたい
- コレクションしたい

当社ウェブサイト



こんな方にオススメ

- 最初期のレポートを読みたい
- 初期の活動の様子を知りたい
- 従業員の劣化ぶり※が気になる

外部サイト(中央事務局HPは最新版のみ、CSR図書館.netは2015年版以降の閲覧可)



こんな方にオススメ

- 当社と他社様との比較をしながら読みたい
- 洗練されたサイトで閲覧したい
- 当社サイトへの訪問に抵抗がある

※2012年版より全従業員顔写真を掲載しています。

2.会社概要及び環境報告の基礎情報

2) 沿革①(当社73年の軌跡)

1946

～1965

草創期 ～「下町の小さな商社」からの出発～



- 1946 . 3 東京都荒川区三河島にて「來商店」創業
- 1952 . 7 「有限会社來商店」と改組
- 1952 . 8 東京都足立区柳原に協力工場設置
- 1953 . 10 東京都葛飾区奥戸本町に協力工場設置(当時の従業員数：4名)
- 1956 . 6 東京都台東区入谷に移転(主力製品：時計バンド、磁気バンド)
- 1962 . 12 「有限会社来ハトメ店」と改称
- 1963 . - このころ、プラグ業界へ進出する
- 1963 . 10 電解コンデンサ用アルミケース生産が始まる(当初は外注)

1965

～1974

念願の工場設立 ～メーカーへの第一歩～

- 1966 . 3 東京都葛飾区新宿町に「金町工場」設立
- 1971 . 4 東京都台東区入谷1-33-5に本社移転

1974

～1998

八潮工場設立 ～金属部品メーカーとして大きく発展～

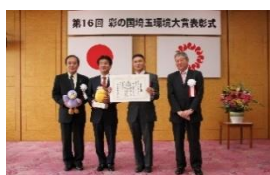


- 1974 . 4 来ハトメ工業株式会社と改組。資本金1,000万円
- 1975 . 3 増資。資本金2,500万円に
- 1990 . 3 本社機能を全て八潮工場へ移管
- 1996 . 3 増資。資本金3,500万円に
- 1996 . 6 「ガラス容器用蓋」を開発。特許取得

1998

～現在

アルミ材加工专业化、品質環境認証取得、各賞受賞



- 1998 . 3 鉄、真鍮から撤退、アルミ材料専門メーカーになる
- 2004 . 1 炭化水素洗浄設備を導入(業界初)
- 2005 . 7 ISO9001:2000の認証取得
- 2007 . 3 年間売上高10億円を達成
- 2010 . 6 エコアクション21認証取得



- 2012 . 2 第15回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門奨励賞受賞
- 2013 . 3 第16回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門環境大臣賞受賞
- 2015 . 2 第18回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門優良賞受賞
- 2015 . 3 第17回彩の国埼玉環境大賞優秀賞受賞
- 2015 . 8 「環境 人づくり企業大賞2014」大賞(環境大臣賞)受賞



- 2016 . 2 第19回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門優秀賞受賞
- 2016 . 5 「環境 人づくり企業大賞2015」優秀賞受賞
- 2017 . 2 第20回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門環境大臣賞受賞
- 2017 . 7 新製品「段付きリベット」量産開始



- 2018 . 2 第21回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門優秀賞受賞
- 2019 . 2 第22回環境コミュニケーション大賞環境経営レポート部門環境大臣賞受賞
- 2020 . 2 環境コミュニケーション大賞環境経営レポート部門殿堂入り

3) 沿革②(当社環境活動のあゆみ)

2009.12 ～2011.2 念願のEA21取得～ただ、がむしゃらに～



- 2009 . 12 エコアクション21取得を目指し本格的に環境活動を開始
- 2010 . 4 紙ごみの有価物化(事業系一般廃棄物量約2t/年削減に貢献)
- 2010 . 6 エコアクション21初回審査(前途多難な船出に)
- 2010 . 8 初の本格的避難訓練実施(写真)
- 2010 . 9 エコアクション21認証取得



2011.3 ～2012.2 2年目～節約マインド全開！～



- 2011 . 3 東日本大震災発生
- 2011 . 6 工場内水銀灯をLED式に更新(写真)
- 2011 . - ウェスリユースを開始(洗浄機にて洗浄し、再使用)
- 2011 . 11 湯沸器の水量・ガス量ルール策定



2012.3 ～2013.2 3年目～評価を自信に、さらに飛躍～



- 2012 . - 森林認証品の優先購入を開始(生物多様性保全のための取組の一環として)
- 2012 . 4 材料つなぎ教育開始
- 2012 . 6 窓用断熱フィルム施工
- 2012 . 8 デマンドコントローラー導入(写真)



2013.3 ～2014.2 4年目～低迷する本業に環境活動が「喝!!」～



- 2013 . 3 廃ストレッチフィルムの有価物化
- 2013 . 6 節電を成功させるための勉強会実施(写真)
- 2013 . 6 『平成25年版環境白書』にて当社事例紹介される
- 2013 . 10 実車によるエコドライブ講習初実施
- 2014 . 1 全員参加の5S活動を開始



2014.3 ～2015.2 5年目～洗浄機更新で念願の「重油不使用」へ～



- 2014 . 3 視覚的「見える化」ボード完成(写真)
- 2014 . 8 洗浄機更新により、重油不使用を実現
- 2014 . 10 『日経エコロジー』(日経BP社)にて当社事例紹介される



2015.3 ～2016.2 6年目～実りの年！しかし、手は抜かず～



- 2015 . 7 『埼玉ビジネスウォッチ』(テレビ埼玉)にて当社活動事例紹介(写真)
- 2015 . 9 社内蛍光灯の9割(約200本)をLED化
- 2015 . 12 『中小企業が環境をダシに儲ける本』(日経BP社)に掲載



2016.3 ～2017.2 7年目～車載品質と環境活動との葛藤～



- 2016 . 5 社用車1台をハイブリッド車に更新
- 2016 . 10 製造ライン清掃、潤滑油全交換を実施
- 2016 . 11 PCB廃棄物(コンデンサ)の処理が完了

2017.3 ～2018.2 8年目～SDGsに挑戦、環境活動「新時代」へ～



- 2017 . 9 国連持続可能な開発目標(SDGs)ケーススタディ(環境省)に参加
- 2017 . 9 SDGsキックオフミーティング(写真)開催(SDGsへの取組開始)
- 2017 . 11 電力事業者変更(CO₂排出係数0.0tCO₂/kWhの電力購入へ)
- 2018 . 1 全ての社用車のハイブリッド車化完了



2018.3 ～2019.2 9年目～異次元のCO₂排出量達成！～



- 2018 . 6 『持続可能な開発目標(SDGs)活用ガイド』(環境省)にて事例掲載される
- 2018 . 12 電力事業者変更問題再燃するも、グリーン電力を死守。
- 2019 . 1 『隔月刊 地球温暖化』(日経ビジネス)にて当社事例紹介される
- 2019 . 2 年間CO₂排出量驚異の9.85t-CO₂を達成。

2.会社概要及び環境報告の基礎情報

4) 当社従業員紹介

(1) プレスの個性を引き出す「名指揮者たち」 ～プレスオペレーター～

日量1,000万個の生産を可能とする当社自慢のアルミケース製造ライン。そこを主戦場とするのが5名のプレスオペレーター。

機械と言えども143台それぞれに違った個性(クセ)を持つ当社のプレス達。それを熟知し、能力を引き出すさまは「名指揮者」そのもの。そんな彼らの仕事ぶり、とくにご覧あれ。

	<p>① 14年目 ② —</p> <p>③ 廃棄物(事業系一般廃棄物)、緊急事態(油漏出訓練)</p> <p>④ ミスなく仕事をする。 安全運転する。</p>
	<p>① 14年目 ② —</p> <p>③ 廃棄物(廃アルミ)、化学物質教育、環境ボランティア 食品トレーの分別を行う。</p> <p>④</p>
	<p>① 14年目 ② —</p> <p>③ CO₂(電力)</p> <p>④ 家庭から出るごみを減らす。 エコドライブを行う。 募金活動を見かけたら募金をする。 地域のボランティア活動に参加する。</p>
	<p>① 3年目 ② —</p> <p>③ CO₂(LPG)、法規制(業務用エアコン簡易点検)</p> <p>④ エコ運転に心がける。 ゴミを減らす。</p>
<p>表の見方</p>  <p>顔写真</p> <p>氏名</p>	<p>① 勤続年数 ② 社内役職</p> <p>③ エコアクション21担当項目</p> <p>④ 私のSDGs(SDGsに関する個人目標) 期間:2018年3月～2019年2月</p> <p>SDGs アイコン</p>

(2) 「金型からの一貫生産」を可能にする技術力～金型製造・修理～

当社最大の売りである「金型からの一貫生産」を支える6名の技術者達。



 <p>来 昌伸</p>	<p>① 42年目 ② 代表取締役社長</p> <p>③ 地域貢献(環境ボランティア) HV車への乗り換え、エコドライブ。</p> <p>④ コンビニ募金の更なる継続。 家庭のごみ量を50%程度減少させる。 家庭内の水道代を20%減少させる。</p>
 <p>有山 浩一郎</p>	<p>① 36年目 ② 取締役工場長</p> <p>③ 廃棄物(紙くず) 町内ゴミ0運動参加。</p> <p>④ 防犯パトロール参加。</p>
 <p>井出 学</p>	<p>① 23年目 ② 製造課長 兼 副工場長</p> <p>③ 廃アルミ(材料歩留まり)、廃棄物(廃ウエス) エコ運転を心がける。</p> <p>④ 家事を分担する。 家にもっと草木を増やす。</p>
 <p>山崎 洋幸</p>	<p>① 22年目 ② 係長 兼 安全衛生推進者</p> <p>③ 法規制(労働安全衛生) モノをメンテナンスしながら大事に使用する。</p> <p>④ 作業手順を守り、安全且つ正確なモノづくり。</p>
 <p>宮本 哲次</p>	<p>① 14年目 ② 主任</p> <p>③ 水、有害化学物質(啓発教育)、環境ボランティア 技術を向上させる。</p> <p>④ 地球環境に関する知識を深める。</p>
 <p>来 尊重</p>	<p>① 11年目 ② 主任</p> <p>③ CO₂(ガソリン)、環境ボランティア 募金を積極的にする。</p> <p>④ 災害に対してしっかり備える。 今まで行ったことのない場所やお店に行く。 平成で学んだことを次の世代に伝える。</p>

2.会社概要及び環境報告の基礎情報

(3) 「ベストな洗浄」の追求 ～洗浄工程～


目指すは「お客様にとってベストな洗浄」！

それを追求し続ける2名の洗浄プロフェッショナルを御紹介。

 来 淳一郎	①	23年目	②	営業課長				
	③	EA21製造部門責任者、化学物質(潤滑油)他						
	④	買い物の際のレジ袋使用を極力減らす。			12	8		
		リサイクルバックを使用する。			12	8		
 斉藤 進	①	15年目	②	—				
	③	化学物質(炭化水素)						
	④	体調管理第一を心がける。			3			

(4) 守備範囲の広さが自慢～2F管理部門～




 来 満	①	50年目	②	取締役会長 兼 管理部長				
	③	EA21代表者、継続的改善						
	④	朝、会社の前のゴミ拾いを継続実施。			11	12	16	
		毎週日曜日の中国語学校通学を継続実施。			3			
 佐々木 勝	①	27年目	②	管理課長				
	③	EA21管理部門責任者、緊急事態(避難訓練)他						
	④	町内のボランティア(ゴミ拾い)に参加。			11	12	16	17
		むだな照明はつけない、消し忘れをしない。			7	12	10	
 石原 隆雅	①	15年目	②	係長 兼 ISO9001管理責任者				
	③	EA21環境管理責任者、法規制、生物多様性他						
	④	各種資格試験への挑戦を続ける。			4			
		毎食後皿と鍋洗いを行う。			5	10		
 来 博行	①	8年目	②	—				
	③	eco検定講座、ペットボトルキャップ収集他						
	④	当社業績向上に努力する。			8	9		
		レジ袋やビニール袋を有効にリユースする。			12	8		
④	継続的に体を動かす。			3				
	引き続き、マイカーの燃費検証を行う。			7	11	12	13	

 <p>福田 則子</p>	<p>① 28年目 ② 主任</p> <p>③ グリーン調達</p> <p>④ 週4回以上、2、30分ウォーキングをする。 節水に心がける。</p> 
 <p>岡本 恵子</p>	<p>① 21年目 ② —</p> <p>③ CO₂(電力)、廃棄物(分別)</p> <p>④ 買い物時、レジ袋からエコバックへ変更。 自然保護募金をする。 ペットボトルのキャップを集める。 ペットボトルをやめ水筒を使うようにする。</p> 
 <p>山田 亜由美</p>	<p>① 21年目 ② —</p> <p>③ CO₂(電力)、廃棄物(分別)</p> <p>④ 買い物のときはエコバックを使う。 水の流しっぱなしに気を付ける。 電気をこまめに消す。 週1回はウォーキングする。</p> 
 <p>安田 ジョセフィーナ</p>	<p>① 21年目 ② —</p> <p>③ CO₂(電力)、廃棄物(分別)</p> <p>④ ペットボトルの仕分けを行う。 洗顔時の水量に注意する。</p> 
 <p>三輪 千鶴</p>	<p>① 18年目 ② —</p> <p>③ CO₂(電力)、廃棄物(分別)</p> <p>④ 買い物時、レジ袋からエコバックに変更。 自然保護募金をする。 牛乳パックは、リサイクルへ。 ペットボトルの仕分けを行う。</p> 
 <p>稲葉 エリザベス</p>	<p>① 17年目 ② —</p> <p>③ CO₂(電力)、廃棄物(分別)</p> <p>④ ダイエットをする(ジムでの運動と食事制限)。</p> 
 <p>山本 マリア</p>	<p>① 16年目 ② —</p> <p>③ CO₂(電力)、廃棄物(分別)</p> <p>④ 水を節約する。 健康と幸福を意識して日々生活する。</p> 

2.会社概要及び環境報告の基礎情報

2F管理部門従業員

 <p>大小堀 レオニラ</p>	<p>① 16年目 ② —</p> <p>③ 備品コスト意識改善他 ちょっと体重を減らす。</p> <p>④</p> 
 <p>大西 百合子</p>	<p>① 14年目 ② —</p> <p>③ CO₂(電力)、廃棄物(分別) ペットボトルキャップを集める。 太陽光とガスからIHに切り替えた。</p> <p>④</p> 
 <p>田中 ジェバチキ</p>	<p>① 14年目 ② —</p> <p>③ CO₂(電力)、廃棄物(分別) ペットボトルキャップの仕分けを行う。</p> <p>④</p> 
 <p>丹羽 アンジェリカ</p>	<p>① 14年目 ② —</p> <p>③ CO₂(電力)、廃棄物(分別) 食べ物を残さない。 プラスチック製品をなるべく使わない。</p> <p>④</p> 
 <p>坂本 ルシール</p>	<p>① 13年目 ② —</p> <p>③ CO₂(電力)、廃棄物(分別) 仕事の残りのペンキを家のリフォームに使う。</p> <p>④</p> 
 <p>奥山 レアグレース</p>	<p>① 13年目 ② —</p> <p>③ CO₂(電力)、廃棄物(分別) 紙とプラスチックの分別をする。 空気がきれいになるように植物を増やす。 PM10:30には電気を消す。 (家族みんなでがんばる!!)</p> <p>④</p> 
 <p>大塚 アデリーナ</p>	<p>① 13年目 ② —</p> <p>③ CO₂(電力)、廃棄物(分別) 節電、節水に心がける。 ペットボトルや缶の分別に努める。</p> <p>④</p> 

 <p>深井 美樹</p>	①	11年目	②	—						
	③	CO ₂ (電力)、廃棄物(分別)								
	④	スーパーでのエコバック活用。				12	3			
		一日8,000歩、歩くようにする。 ペットボトルと牛乳パックの仕分け。				1	3	12	15	
 <p>星野 ウェンディ</p>	①	3年目	②	—						
	③	CO ₂ (電力)、廃棄物(分別)								
	④	電気を使う時間を少なくする(夜は早く寝る)。				3	7	12	13	
		冷蔵庫を開けっぱなしにしない。				7	12	13		
 <p>佐藤 シュリタ</p>	①	3年目	②	—						
	③	CO ₂ (電力)、廃棄物(分別)								
	④	仕事場の整理整頓に心がける。				8				

来ハトメ環境トピックス2019

①新たな試み～2つのガイドライン適用の環境報告書作り～

10年目にして初挑戦

今年で晴れてエコアクション21認証取得から10年目を迎える当社。マンネリを心配される声も多々ありますが、実は当社、環境活動におけるマンネリというものを、あまり感じたことが正直ないんです……。

ものすごい勢いで次から次へと湧き出してくる環境の世界のあれやこれやに思いっきり背中を押され、気づけばなんと10年目。充実しているのは間違いがないが、変な感覚で過ぎていった10年間、といったところです。

「変な感覚、もっと続け！」とばかりに、10年目を迎える今年、満を持してまた新たなことへいざ挑戦！

この「新たな挑戦」——。それこそ、今まさに執筆作業中の「環境経営レポート」に「環境報告書ガイドライン2018年版」の要素も取り込んで、二つのガイドラインの要求事項を満たす環境報告書を作成して世に送り出す、という、もしかしたら人類初、だけどすごく地味な挑戦……なのです。果たして上手くいくのか、手探りで執筆とはなりますが、レポートをお読み頂いた方に、今年も変わらず失笑をお届けする。そこだけはブラさずに、今年も最後まで書き進めていこうと思います。

次に、この突拍子もない挑戦を思い立った経緯について、簡単に御説明します。

殿堂入り、からの……

この挑戦の契機となったのは、環境省主催「環境コミュニケーション大賞」(以後コミュ大)において第23回より新設された「殿堂入り制度」。これはコミュ大において直近で大賞(環境大臣賞)受賞の事業者は、受賞後3年間「殿堂入り」となり、同賞への応募ができない、というもの。実は当社、前年(第22回)のコミュ大において大賞(環境大臣賞)を受賞。「殿堂入り」を果たしてしまっただ当社は、向こう3年間、コミュ大挑戦への道が閉ざされてしまったのです。

毎年目標としていただけに、とんでもない喪失感が漂う中、同賞の御関係者様より「環境報告書部門への応募なら可能」との御連絡が。「それなら一丁やってやろう！」とばかりに、二つのガイドラインに準拠した環境報告書の作成を決意するに至ったのでした。

当然いばらの道！だけど……

しかし、コミュ大への参加権はともかく、名だたる大企業ひしめく「環境報告書部門」への挑戦、そんな簡単なはずがありません。でもこれが「環境報告書は大企業のもの」という認識を変えるきっかけとなり、「環境報告書ってとても身近」という流れの源流の一滴となったとしたら、とても意味のある挑戦になるはず！そのためにもまずは後に続く方に勇気を与えられる報告書を書こう、心からそう思います。

3.経営責任者のコミットメント



1) 環境経営方針

当社の社業である金属製品製造には、多量の天然資源やエネルギーの使用が不可欠です。そのため、事業を永続的なものとするためには、これらの持続可能な利用に資するための活動、すなわち、環境保全活動への積極的な取組が大きな鍵を握るものと考えます。

当社は、従業員の自主性に基づく環境保全活動を通じ、環境負荷の低減と御得意先様の満足、更には従業員の成長を実現させつつ、社業を持続可能なものとすることを経営の重要課題の一つとしてとらえ、次の行動指針を定めます。

- 1 事業活動に伴う環境負荷を低減し、環境への影響を最小限にとどめるために、次の取組を行います。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減(2030年に2013年比50%削減を目標とする)
 - ② 分別排出、使い切り等による廃棄物排出量の削減
 - ③ 水使用量の削減並びに雨水の有効活用
 - ④ 不良品の発生削減による材料歩留まりの向上
 - ⑤ グリーン調達の推進
 - ⑥ 有害化学物質の取扱い禁止並びに化学物質使用量の削減及び適正管理
- 2 エコアクション21の取り組みにより環境への取り組みの継続的な改善を図り、活動の質の維持・向上に努めます。
- 3 事業活動に適用される環境法規制を遵守します。
- 4 環境教育・訓練の実施により、全ての社員に環境経営方針を周知徹底すると同時に、環境保全に関する知識を高め、社内における環境保全状況の知識・認識の向上を図ります。
- 5 生物多様性に関する従業員教育を実施するとともに、その保全と持続可能な利用のための取組を推進します。
- 6 ボランティア活動等を通じて、地域貢献に取り組みます。
- 7 5Sを徹底し、社内美化及びカイゼン活動に取り組むと同時に、事業活動内に潜む様々なリスクやムダの「見える化」とその排除に努めます。
- 8 全従業員に対し、SDGs(持続可能な開発目標)の周知及び普及に努めると同時に、継続的にSDGsが掲げる目標実現のための活動に取り組みます。
- 9 環境方針等、必要な情報を開示します。

2019年3月1日改訂

来ハトメ工業株式会社

取締役会長(EA21代表者)

来 浩 




2) 品質方針

御得意先様の満足をもって、我社の満足とする。

御得意先様の満足水準の高度化に対しても常に応えられる様、品質マネジメントシステムを確立し、そのレベルの維持向上に対する努力を継続的に続ける。

2013年3月1日

来ハトメ工業株式会社

来 昌 伸 



3) 2019年度の変更点

● 環境経営方針

経営者による環境への取組のコミットメント(環境経営方針)策定の前段階にて実施した、現状の課題及びチャンス分析において、「労働安全衛生への取組が不十分であり、これがリスクになり得る」という課題が抽出されたことから、2019年度より、従来の5S活動を更に拡大し、労働安全衛生にも少しずつ取組を広げることとしました。

それに伴い、環境経営方針7.の文言を一部変更。新たに「事業活動内に潜む様々なリスク」の文言を加えました。

● 品質方針

2019年度は、品質方針の変更はありませんでした。

レポートを読み解くためのキーワード

「経営責任者のコミットメント」とは？

環境経営レポートの世界ではあまり聞きなれない「経営責任者のコミットメント」。これをエコアクション21の用語を踏まえ、もう少し分かりやすく言いかえると

経営責任者 : 代表者
コミットメント : 非常に強い意味の約束

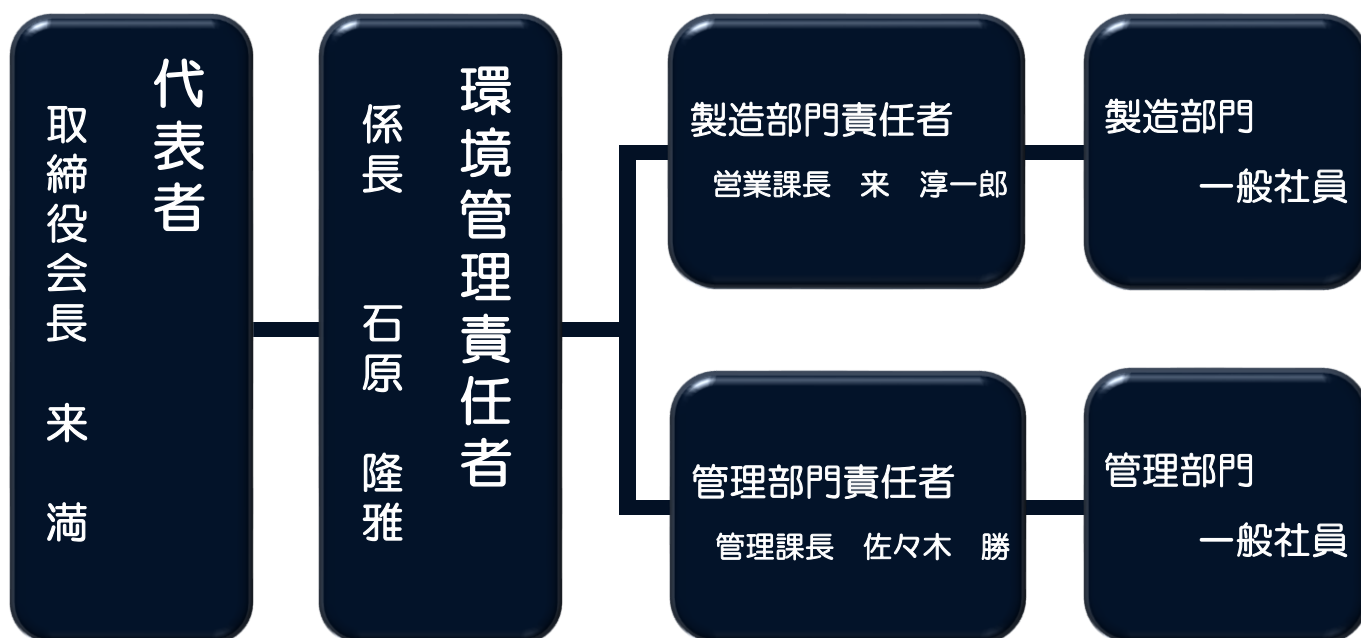
といった感じになります。

従って、「経営責任者のコミットメント」は、エコアクション21ガイドラインに置き換えると、代表者が、自らの言葉で定めて誓約する「環境経営方針」と言いかえても差し支えないでしょう。

4.実施体制及びガバナンス



1) EA21環境経営組織図



2) 役割責任及び権限

役割(職位)	責任 及び 権限
代表者	1 . 環境方針の制定、誓約及び従業員への周知 2 . 環境管理責任者の任命 3 . 環境経営資源の確保 4 . 是正・予防処置発生時のフォロー、並びに指示 5 . 全体の取組状況の評価と見直し、並びに指示
環境管理責任者	1 . エコアクション21活動全般の施策・運用 2 . エコアクション21の実施記録を経営者に報告 3 . 各種環境関連文書の記録の管理 4 . 環境関連法規の遵守に関する教育 5 . 環境経営レポートの作成、公表
製造(管理)部門責任者	1 . 環境目標に即した自部門の環境活動計画の策定・実施 2 . 自部門の環境活動計画の実施状況を環境管理責任者に報告 3 . 自部門の一般社員に対する環境教育の実施
(各部門)一般社員	1 . 各担当項目の施策策定及び施策の実施 2 . 各担当項目の実施状況を環境管理責任者に報告 3 . 担当項目以外の環境保全活動への協力 4 . 環境関連法規に関する知識習得及びその遵守 5 . 活動を通じての部門責任者、環境管理責任者への提案 6 . 各家庭における環境教育の実施



3) 2019年度の変更点

実施体制における2019年度の変更部分はありません。

レポートを読み解くためのキーワード

「ガバナンス」の意味と当社の取組

～課題とチャンスの明確化とマテリアリティ分析～

そもそも「ガバナンス」とは？

環境報告をするにあたり、従来の「エコアクション21ガイドライン2017年版」と合わせて今回から参照している「環境報告書ガイドライン2018年版」。これを読んだ率直な感想は「横文字が多い」。悲しいかな、これに尽きます。

極度の横文字アレルギーの私にとって、非常に困ったところ。というのはひとまず置いておくとして、今出てきた「ガバナンス」というのもご多分に漏れず横文字。ここは横文字アレルギーの同士のために「(コーポレート)ガバナンス」の解説から簡単にすることとしましょう。

「コーポレートガバナンス」。これを日本語に訳すと「企業の統治」。つまり、企業に所属する者自身が、間違いが起こることを防止するためのルールを作り、それを実行することで自らを監視するための取組のことをいいます。

次に当社の「(コーポレート)ガバナンス」の実践方法をご紹介します。

「課題とチャンス」の応用

当社では、従業員が現場で感じるナマの意見を伝える機会として、全従業員を対象に年に一度、当社が抱える課題とチャンスに関するヒアリングを実施。それを基に行うマテリアリティ分析の結果を踏まえ、最終的に経営者が当年度に取り組みべき課題とチャンスや環境経営方針などを決定するという方法を採用することで、従業員の声を経営に生かす取組を実施しています。

次に、2019年度におけるこれら一連の過程について御報告します。

2019年度の「課題とチャンス」

2019年度の従業員アンケートにより、以下のような課題とチャンスが抽出されました。

課題(9件)

- ① 地球温暖化(気候変動)
- ② 大災害の発生
- ③ 世界情勢、景気の影響をもろに受ける
- ④ 設備老朽化

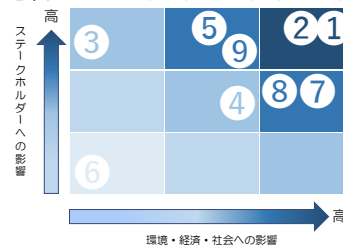
- ⑤ 品質要求高度化に伴う不良品続発
- ⑥ 得意先少なく、営業が弱い
- ⑦ 会社周辺の環境変化(マンション増加)
- ⑧ 外国人従業員が多い
- ⑨ リスクマネジメントへの対応不十分

チャンス(6件)

- ① 営業活動に注力
 - ② 従業員教育の実施
 - ③ コミュニケーション活性化
 - ④ 高付加価値製品の拡販
 - ⑤ 様々な失敗を糧にする
 - ⑥ 強み(小回りの良さ)を生かす
- これらの結果を踏まえ、「マテリアリティ分析」を行いました。

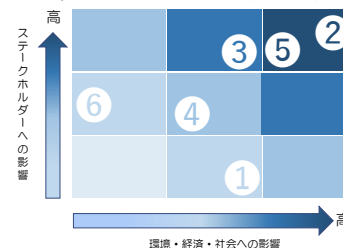
「マテリアリティ分析」とは、自社にかかわる重要課題をあぶりだすための手法で、縦軸に「ステークホルダーへの影響」を、横軸に「環境・経済・社会への影響をとった表に事象をプロットし、それぞれの課題をどのくらい重視しているか」を明らかにするものですが、2019年度は、以下の様な結果となりました。

課題のマテリアリティ分析



NO.	環境経営方針
①	1-①
②	1-①、4
③	-
④	-
⑤	1-②、④、2
⑥	-
⑦	3、5、6
⑧	4
⑨	7、8

チャンスのマテリアリティ分析



NO.	環境経営方針
①	-
②	4、5、7
③	2、9
④	-
⑤	4
⑥	-

表右上の濃いゾーンに入ったものを環境経営方針へ反映することに。2019年度は課題⑨の「リスクマネジメント」が抽出され、重要度も高かったことから、新たに環境経営計画へ反映しました。

5.PDCAで見る環境関連法規遵守の取組

1) 法規制遵守関連の環境経営計画と関連SDGs

取組内容	SDGs	実施責任者
事業活動内に該当する法令の改正状況を年1回調査し、改正あるものについては、法令ファイルの入替を行う。		石原 隆雅
工場稼働時の敷地境界における騒音の状況を確認し、記録する。	 	井出 学
第一種特定製品(業務用エアコン等)の点検を行う。	 	グエン ヴァン トゥアン
環境関連法規のための教育又は教育効果確認のためのテストとそのフォローを行う。	 	石原 隆雅
社内使用化学物質のリスクアセスメントを実施する。	  	山崎 洋幸
作業環境の騒音測定を行う。	 	山崎 洋幸
労働安全衛生に関する教育を実施する。	   	山崎 洋幸

2) 法規制遵守状況のチェック結果


廃棄物処理法の遵守状況

法令名	条・項	遵守事項	チェック結果	遵守状況
廃棄物処理法	第3条	排出者責任の原則	委託業者の事業系一般廃棄物及び産業廃棄物許可証の写しを受領、確認済。	遵法
	第6条の2 第6項	事業者の一般廃棄物の処理		
	第12条 第2項	事業者の処理 (産業廃棄物 保管基準)	産業廃棄物保管場所の掲示板を設置し、囲いを設けて保管。 保管場所は屋内、床面はコンクリートであり、飛散、流出、地下浸透、悪臭発散の恐れもない。 水銀使用製品産廃(蛍光灯)については保管場所に仕切りを設置。	
	第12条の3 第1項	産業廃棄物マニフェストの交付	2019年度計5枚のマニフェスト交付事例あり。全て適正に記入され、保管もされている。また、これらの報告については、2020年4月8日、越谷環境管理事務所に送付。4月9日受付完了し、控えはファイルにて保管。	
	第12条の3 第6項	産業廃棄物マニフェストの保存		
	第12条の3 第7項	マニフェストに関する報告書の作成・報告義務		

リサイクル関連法の遵守状況

法令名	条・項	遵守事項	チェック結果	遵守状況
自動車リサイクル法	第73条	再資源化預託金等の預託義務	2019年度は自動車リサイクル事案は発生していない。 2018年2月に社用車1台を更新時の処理が適正に行われたことを確認。	遵法
家電リサイクル法	第6条	事業者及び消費者の責務	2019年度特定家電(テレビ)の処分事案は無し。 昨年度以降の分のリサイクル券の控えは適正に保管されている。	遵法
資源有効利用促進法	第5条	消費者の責務	2019年度においてはパソコン処分事案は発生していないが、2013年2月の処分時においては適正に処分を実施、書類も適正に保管している。	遵法

典型七公害関連法の遵守状況

法令名	条・項	遵守事項	チェック結果	遵守状況
騒音規制法	第5条	規制基準の遵守義務	毎月敷地境界4か所にて測定を実施。 問題がないことを確認。	遵法
	第6条	特定施設設置の届出	届出済(平成26年4月10日許可番号0030号)。	
振動規制法	第5条	規制基準の遵守義務	未測定(但し、近隣からの苦情は無く、届出時に八潮市役所による検査済)。	遵法
	第6条	特定施設設置の届出	届出済(平成26年4月10日許可番号0030号)。	
八潮市公害防止条例 	第17条の1	特定工場設置の許可	届出済(平成22年5月7日許可番号0031号)。	遵法
	第18条の1	特定工場変更の許可	届出済(平成26年4月10日許可番号0030号)。	
	第20条	掲示板の設置	道路沿いの入口に設置されている(写真参照)。	
悪臭防止法	第7条	規制基準の遵守義務	臭気を感じることも無く、近隣からの苦情もないことから、当社により住民の生活環境が損なわれていないと判断できる。	遵法

5.PDCAで見る環境関連法規遵守の取組

その他の環境関連法の遵守状況

法令名	条・項	遵守事項	チェック結果	遵守状況
浄化槽法	第5条	設置等の届出	届出済。	遵法
	第10条	保守点検及び浄化槽の清掃(浄化槽管理者の義務)	分離ばっ気方式、処理対象21人以上(点検3月1回、清掃年1回義務)に対し 点検年4回 (3/25,6/10,9/5,12/9) 清掃年3回 (4/25,10/1,1/22) 実施。問題無し。	
	第11条	水質に関する検査(定期点検)	2019年11月25日に実施(判定：おおむね適正)	
八潮市火災予防規則	第10条	火を使用する設備等の設置の届出	炭化水素貯蔵量980ℓのため、少量危険物取扱所に該当。 八潮市消防本部に届出済。	遵法
消防法	第13条3項	危険物取扱者立会いの義務	2019年3月現在、危険物取扱者免状所持者4名。 今後、更に増員予定。	遵法
	第13条の23	保安に関する講習受講義務	2019年度該当者3名。 6月11日(田辺) 7月18日(来 博行) 10月23日(石原) にそれぞれ受講済。	
フロン排出抑制法	第5条第2項	事業者の責務(簡易点検の実施義務)	2019年5月23日、8月19日、11月15日、2019年2月26日に簡易点検実施。記録も保管されている。	遵法
	第41条	第一種特定製品廃棄等実施者の引渡義務	2019年度は業務用エアコン等の入替を実施していないため、同法の適用事例はないが、2011年度実施時に交付された「回収フロン破壊処理証明書」の保管は適正になされている。	
労働安全衛生法	第12条の2	安全衛生推進者等	2018年12月14日、係長山崎 洋幸が安全衛生推進者養成講習を受講。同日修了。	遵法

企業間の取決めの遵守状況



法令名	チェック結果	遵守状況
企業間の取決め (日本ケミコングリーン調達ガイドライン)	当ガイドラインの禁止物質不使用証明書を全サプライヤーから受領し、日本ケミコン株式会社様へ提出済。 2019年度は日本ケミコン株式会社様のグリーンサプライヤー認定の更新年度であったため、2020年2月6日に更新書類一式を提出。認定更新(有効期限2025年2月25日)	遵法

3) 違反・訴訟の有無

環境法規等の逸脱はありませんでした。

また、過去5年間にわたって、違反や訴訟も1件も発生しておりません。

4) 法規制の遵守状況の評価と次年度以降の取組内容

活動概要	関連SDGs	評価点	寸評、次年度以降の取組内容
法規制改正状況の確認		10点	遵守状況チェックと同時に実施。次年度も同タイミングで実施。
騒音測定		7点	風の影響で6,10,12月に規制値逸脱発生。次年度も継続して測定し、対策の必要性を検討。
第一種特定製品(業務用エアコン)簡易点検		10点	計画通り年4回実施。次年度も年4回の実施を計画。
法規制遵守のための教育		10点	計画通り年4回実施。次年度も年4回の実施を計画。
リスクアセスメント実施		0点	実施せず。次年度は実施する。
作業環境騒音測定の実施		0点	実施せず(技術的な問題もあり)。次年度も計画、実施予定。
労働安全衛生教育の実施		10点	計画通り年3回実施。次年度も年3回の実施予定。

5) 法規制遵守の取組に関する代表者の評価・指示

金属プレスを扱う工場である以上、騒音の問題を第一に考えるべきであると思う。

「他人の金儲けの音」は気になるのが人情であることを肝に銘じて、近隣との人間関係を良好な状態に保つように心がけるべきである。

6.PDCAで見る緊急事態の想定とその対応策

1) 想定される緊急事態

当社が2019年3月現在想定していた緊急事態は以下の3点です。

- (1) 潤滑油の漏洩
- (2) 地震の発生
- (3) 火災の発生

2019年度は、上記想定に基づき、これらを想定した訓練を、下記環境経営計画に従い、実施しました。

2) 環境経営計画とSDGs

取組内容	SDGs	実施責任者
火災、地震避難訓練の事前準備及び実施指揮とその後のフォローを行う。	 	佐々木 勝
製造現場の油漏出訓練の実施の事前準備及び実施指揮とその後のフォローを行う。	  	加茂 隆弘
火災、地震時の心構えに関する教育を実施する。	 	佐々木 勝
災害用物資倉庫の管理を行う。	  	佐々木 勝
八潮市防火安全協会主催の消火訓練の案内と当日の指揮を行う。	 	来 昌伸 佐々木 勝

3) 緊急事態の対応及び訓練状況

潤滑油漏洩時訓練(2019年11月13日実施)

工場内全体に張り巡らされている配管が破損し、その部分から潤滑油の漏洩が発生した場合を想定しての訓練を実施。

特に配管破損時の修理方法についての実技訓練を実施しました。



地震・火災想定避難訓練(2019年11月13日実施)

地震・火災の発生を想定しての訓練。避難場所(中庭)に早く逃げることで、避難後の人員の安全確認の手順を再確認しました。



練習用消火器を使用した消火訓練(2019年11月13日実施)













毎年恒例の、練習用水消火器を使つての、消火器の取扱い方法訓練。

従業員アンケートより

- 毎年実施しているお陰で、消火器の取扱い方に慣れてきた。



4) 緊急事態の想定・訓練の評価と次年度以降の取組内容

活動概要	関連SDGs	評価点	寸評、次年度以降の取組内容
火災・地震想定避難訓練の実施	 	10点	計画通り実施。 次年度の更なる向上に期待。
油漏出時訓練の実施	  	10点	計画通り実施。 訓練時のメガホン導入を検討。
火災・地震時の心構えに関する教育の実施	 	0点	年2回計画、実施せず。 次年度こそ年2回実施。
災害用物資の検討、調達、備蓄及び管理	  	10点	今年度備蓄品の新規購入なし。 備蓄品は適切に管理されている。 次年度は実情を踏まえ新たな備蓄品(マスクなど)の調達を検討。
八潮市防火安全協会主催の消火訓練への参加	 	—	訓練場所確保できず当訓練は今後開催しないことを決定。 代替策を調査・検討する。

事務局からの提案

2019年度は、秋には極めて大型の台風の上陸、冬には現在も猛威を振るう新型コロナウイルスの大流行といった具合に、従来の想定を超える緊急事態が頻発した一年でした。

そんな中、2019年度末に全従業員を対象に実施した「あなたが思う当社のリスク・機会アンケート」においても、「気候変動に伴う異常気象、洪水の発生」、「新型コ

ロナウイルスの流行」を、多くの従業員が当社のリスクと考えているようでした。

こうした意見や、都心に近く、しかも河川付近の低地という当社の立地条件を踏まえ、BCP(事業継続計画)の観点からも当社としての気候変動に対する適応策や、未知の疫病蔓延への対応策を、早急に検討すべきと判断し、これら2点を新たに想定される緊急事態に加えることを提案しました。

5) 緊急事態の想定・訓練に関する代表者の評価・指示

新規2点を緊急事態に加える提案を支持する。特に、新型コロナ対策については、第二次の流行も懸念されるため、通常価格に戻ったら、マスクの買入れ、備蓄、額に当てるだけで即、熱の測定が可能な体温計の購入を考えるべきだと思う。

7.数字で見る2019年度環境負荷の全体像

1) 過去5年間の環境負荷の実績

項目(単位)	2014	2015	2016	2017	2018	
CO ₂ 排出量	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)※ ₁	270,342	251,277	299,131	225,161	9,856
	電力(kWh)	523,004	562,463	623,392	700,395	667,351
	重油(ℓ)※ ₂	12,500	—	—	—	—
	LPG(kg)	515	474	506	501	483
	ガソリン(ℓ)	3,251	3,285	2,574	2,338	1,435
	灯油(ℓ)	1,482	1,227	1,641	2,030	1,815
廃棄物	事業系一般廃棄物(kg)	1,795	1,860	1,285	1,084	18,338
	産廃(廃ウエス)(kg)	1,800	1,400	9,030	1,800	2,000
	紙くず(リサイクル量)(kg)	1,930	1,660	2,270	2,270	2,920
	廃アルミ(有価物)(kg)	218,161	241,234	279,020	313,520	311,780
水	上水(m ³)	571	405	418	416	437
化学物質	炭化水素(ℓ)※ ₃	24,000	12,600	16,400	21,600	21,400
	潤滑油(ℓ)※ ₄	22,000	22,000	35,000	34,000	28,000
グリーン調達率(%)	80.42	80.52	71.79	81.49	84.44	

2008年度東京電力㈱の実排出係数(0.418kg-CO₂)を基に算出しています(2016年度まで)。

※₁ 二酸化炭素排出量 2017年度については、日本テクノ㈱の調整後排出係数(0.447kg-CO₂、2017年10月まで)とプレミアアムグリーンパワーの調整後排出係数(0.000kg-CO₂、2017年11月以降)を基に算出しています。

※₂ 当社における重油使用は2014年8月をもって終了しました。

※₃ 炭化水素の物品名は「ソルトーフP-1」(第2石油類 非水溶性)になります。

※₄ 潤滑油の物品名は「ラタックコンパウンド」(第4石油類)になります。

項目毎の基準年度は、2)環境目標の達成状況を御参照下さい。

2) 2019年度の実績と目標達成状況

二酸化炭素排出量に関するもの

項目	単位	基準年度	目標値	実績値	達成状況
二酸化炭素排出量	総量(kg-CO ₂)	2013年度	227,782	8,585	達成
電力使用量	※ ₁ 洗浄袋数(調整)原単位(kWh/袋)	2015年度	20.21	17.55	達成
灯油使用量	稼働日原単位(ℓ/稼働日数)	2010年度	5.81	6.28	未達
LPG使用量	稼働日原単位(kg/稼働日数)	2010年度	2.74	1.67	達成
ガソリン使用量	総量(ℓ)	2018年度	1,420.81	1,360.23	達成

廃棄物排出量に関するもの

項目	基準年度	単位	目標値	実績値	達成状況
事業系一般廃棄物	2014年度	総量(kg)	1,723	1,058	達成
産廃(廃ウエス)	2017年度	総量(kg)	1,782	2,000	未達
紙くずリサイクル率	2010年度	※ ₂ 紙くず(kg)/ゴミ総量(kg)×100	33.64%	38.69%	達成
廃アルミ(有価物)	2010年度	※ ₁ 洗浄袋数(調整)原単位(kg/袋)	8.84	7.84	達成

水使用量

項目	基準年度	単位	目標値	実績値	達成状況
水	2015年度	稼働時間原単位(m ³ /月稼働時間(h))	0.209	0.215	未達

化学物質使用量に関するもの

項目	基準年度	単位	目標値	実績値	達成状況
炭化水素	2017年度	洗浄袋数原単位(ℓ/袋)	0.59	0.53	達成
潤滑油(ラタック)	2010年度	※1洗浄袋数(調整)原単位(ℓ/袋)	0.86	0.68	達成

グリーン調達

項目	基準年度	単位	目標値	実績値	達成状況
グリーン調達	—	グリーン調達率(%)	83%以上	74.69%	未達

※1洗浄袋数(調整)原単位とその算出方法(電力、ラタックの原単位算出に使用)

- 手順1. 当月洗浄袋(ロット)数÷当月製造数=製品1個あたり袋数を計算する -①
 手順2. 調整(1)の値を計算する 調整(1) = ① ÷ (基準年洗浄袋(ロット)数 ÷ 基準年製造数) -②
 手順3. 調整(2)の値を計算する 調整(2) = {1- (②-1)} × 当月使用量 -③
 手順4. 調整後原単位を計算する 調整後原単位 = ③ ÷ 当月製造数

※2ごみ総量(kg)：事業系一般廃棄物(kg)、産廃(廃ウエス)(kg)、紙くず(kg)の合計量となります。
 表中赤太字の項目は、目標値未達の項目を表します。

3) Check
確認 2019年度マテリアルバランス

インプット	上:使用(排出)量 下:費用	プロセス	アウトプット	上:処分(売却)量 黒:収入 赤:支出	
アルミ材料	534,932kg 391,739千円	原材料調達			
電力	513,107kWh 12,249千円	製造	CO ₂	8,585kg-CO ₂ -千円	
灯油	1,488ℓ 126千円		事業系 一般廃棄物	1,058kg 46千円	
LPG	395kg 144千円		産廃 廃ウエス)	2,000kg 115千円	
ガソリン	1,360ℓ 194千円				
炭化水素	14,000ℓ 4,026千円				
潤滑油	20,000ℓ 6,620千円				
上水	374m ³ 76千円			排水 (浄化槽維持費用)	374m ³ 78千円
			販売	製品	305,852kg 565,559千円
			アルミ スクラップ	229,080kg 37,613千円	

8.PDCAで見る2019年度環境活動

二酸化炭素排出量（目標値：総量（kg-CO₂）

Plan 中長期環境経営目標

（単位：kg-CO₂）

年度	目標値	基準年度比
2019	227,782	30.2%削減
2020	221,908	32.0%削減
2021	216,034	33.8%削減
2022	210,160	35.6%削減
2023	204,287	37.4%削減
2030	163,169	50.0%削減

基準年度	2013年度
※基準年度実績	326,337kg-CO ₂

※CO₂排出量の基準年度と長期目標設定について
2015年12月に採択された「パリ協定」の目標達成のために、わが国では、「2030年度までに2013年度比26%、2050年までに80%の削減を目指す(地球温暖化対策計画)」という目標が設定されました。当社においても、この目標になぞらえる形で長期目標のゴールを2030年度とし、目標値としては、国の削減目標よりも遥かにチャレンジングな「50%削減」とし、取組を進めていくこととしました。

中長期環境経営目標達成のために

電力の購入先を2017年11月よりCO₂排出係数ゼロ(平成30年度実績)の事業者からの購入に切り替えたことで、昨年度は目標値を大きく下回る結果となりました。

しかし、電力については、価格優先の考え方に会社として負けそうになった過去があること(負けてしまった場合、当然、二酸化炭素排出量は一気に跳ね上がります)を踏まえ、環境経営目標については2030年度にゆっくり50%削減を実現するプランをそのまま踏襲することとしています。

無事達成するためには、「価格よりも環境」との考えを社内で共有できる体制を築くことが何よりも重要と考えます。そのためには、やはり教育。環境保全の面で道を外さぬように誘導すべく、従業員への環境教育を重視し続けます。そして、2030年度には最低でも50%削減、出来れば、今の勢いをさらに加速させ、再生可能エネルギー100%(RE100)を達成という究極目標も視野に、全力で取り組みます。

Plan Do 環境経営計画と具体的取組

当社における二酸化炭素の具体的な排出源は、エネルギー(電力、灯油、LPG、ガソリン)の4項目)使用に伴うものとなります。

それぞれの具体的な取組については、後の頁にて後述しますので、御確認下さい。

Check 二酸化炭素排出量の推移



2019年度は、大幅に削減に成功した前年度から更に約13%削減という結果になりました。年間通じてグリーン電力の購入を維持できたことに加えて、米中貿易戦争の影響をもちに受け、生産活動が停滞したため、電力以外のエネルギー使用量(LPG、灯油、ガソリン)が減少したことがその要因です。

ネガティブ要素の強い減少のため、あまり素直に喜べる結果とは言えませんが、苦境にありながら価格的に不利なグリーン電力の購入を維持できたことは、会社全体の環境意識の高さの表れ。そうポジティブに解釈し、静かに喜びたいと思います。



二酸化炭素排出量削減に関する代表者の評価・指示

グリーン電力購入のマイナス要素を、電力の削減、より広く環境全体に関心を持つというプラス要素の拡大により打ち消す方向に努力して欲しい。

レポートを読み解くためのキーワード 当社独自の評価基準「SDGs評価点」とは？

SDGsで環境経営を総点検

今回で3回目となるSDGsへの取組。当社環境経営レポートでは、「取組状況の確認及び評価(Check)」の手法として「SDGs評価点」を昨年度レポートより採用しました。

これは、SDGsの観点から当社の環境経営に関する取組状況を点数化することと、当社の取組がSDGsをどれだけ満たすものとなっているのか、数値的に可視化することを狙い、設定したものです。

年間の環境活動の状況をいざ評価しようにも、数字で表せる使用(排出)量ならまだしも、教育・訓練や削減に繋がる活動の実施状況などについては、評価が難しいというのが、従来の悩みでした。

そこで、環境経営計画策定時に全ての計画をSDGsと紐付けし、年度終了時に独自基準に基づきすべての計画を点数化。そうすることで、今までどうしても表現が難しかった数字に表せない活動の取組状況を数字で表現したり、年度毎の比較をすることまで可能となりました。また、SDGsに紐付けした結果をグラフ化することで、現在の活動がSDGsをどれだけ満足する活動となっているのか、欠けている部分はどこなのかというところまで、「見える化」できてしまう。いいことづくめの評価方法ではないのかな?と考案者として自画自賛している次第です。

このようにいいことづくめ(?)の「SDGs評価点」。これが今後世の中に広まるかどうかはひとまず置いておいて、その評価基準は、次の通りです。

「SDGs評価点」評価基準

環境関連法規(17～20頁)

10点満点。遵守事項各項目につき遵守されていないものがあつた場合、1項目ごとに△1点。
また、毎月確認が必要な項目については、年間完全達成で満点、達成できない月があれば1点減点とする。

緊急事態の想定とその対応策(21、22頁)

10点満点。2019年度年初に予定した訓練3項目(避難訓練、油漏出訓練、八潮市消火訓練)について、実施した場合は10点、未実施の場合は理由の如何を問わず0点とする。

項目毎の取組(数値目標)(27～41頁)

目標達成率を点数とする(但し、100%以上10点(満点)、小数点以下切捨て)。

項目毎の取組(教育訓練)(17～52頁)

各教育訓練項目それぞれ10点満点。実施回数にて採点し、計画通り実施の場合は満点(10点)、未実施の場合は、未実施1回毎の減点=10÷実施予定回数(小数点以下切上げ)に基づき減点する。

項目毎の取組(数値以外の目標)(27～52頁)

実施の場合は満点(10点)、未実施の場合は理由の如何を問わず0点とする。

補足

1つの環境活動計画につき2つ以上のSDGsが並存しているものについては、どちらも同じ点数であるものとして評価する。

8.PDCAで見る2019年度環境活動

電力使用量(目標値：洗浄袋数(調整)原単位(kWh/袋))

Plan 中期環境経営目標

年度	目標値	基準年度比
2019	20.21	4%削減
2020	20.00	5%削減
2021	19.79	6%削減
2022	19.57	7%削減
2023	19.37	8%削減
基準年度	2015年度	
基準年度実績	21.05kWh/袋	

中期環境経営目標達成のために

先に述べた通り、現在当社で購入している電力のCO₂排出係数はゼロ。そこだけに着目してしまうと「使い放題でも問題無し」という発想が出かねません。

「環境負荷はゼロでも大きなコストは発生している」という意識を持ち、コスト削減活動の一環としてとらえ、今後共節電を追求していきます。

Plan 2019年度環境経営計画とSDGs

項目	SDGs	実施責任者
毎月の電力使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。	12 持続可能な消費生活 13 気候変動対策	田辺 栄一
朝礼時に電力使用削減啓発(月1回)を行う。	4 質の高い教育をみんなに 13 気候変動対策	田辺 栄一
電力関連の教育(年5回)を実施する。	4 質の高い教育をみんなに 13 気候変動対策	田辺 栄一
電力使用量、CO ₂ 排出量削減に貢献可能な機器等の調査及び導入に向けての提案を行う。	7 持続可能なエネルギー 12 持続可能な消費生活 13 気候変動対策	田辺 栄一
デマンド目標を夏期290kW、冬期260kWとし、警告表示時の行動を策定及び指揮する。	13 気候変動対策	田辺 栄一
デマンド設定値逸脱防止のため、ピークシフト生産、前倒し生産等の施策を検討、実行、指揮する。	13 気候変動対策	来 満
1F製造ラインのエア配管からのエア漏れチェックを行い、漏れ箇所があれば修繕を行う。	13 気候変動対策	田辺 栄一
製造現場(田辺)、洗浄場(斉藤)、2Fフロア(安田)の温・湿度を毎日記録する。	13 気候変動対策	田辺 栄一 斉藤 進 安田 ジョセフィーナ

原単位算出式：*基準年度の洗浄袋数を基に調整した電力使用量(kWh)÷洗浄袋数(袋)

※原単位計算方法については24頁をご覧ください。

Do 2019年度電力使用量削減に関する主な取組

その1. ミストで冷やせ！冷却フィン

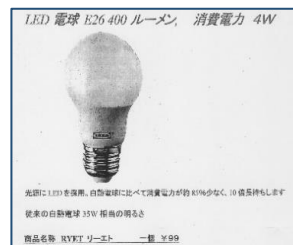
夏期に大きな負荷がかかりデマンド上昇の元凶となる洗浄場のチラー。こちらに省エネ診断士の御知恵を拝借してちょっと工夫。

チラーのフィンにミストで冷却。前年比3kW減の大きな原動力(?)に。



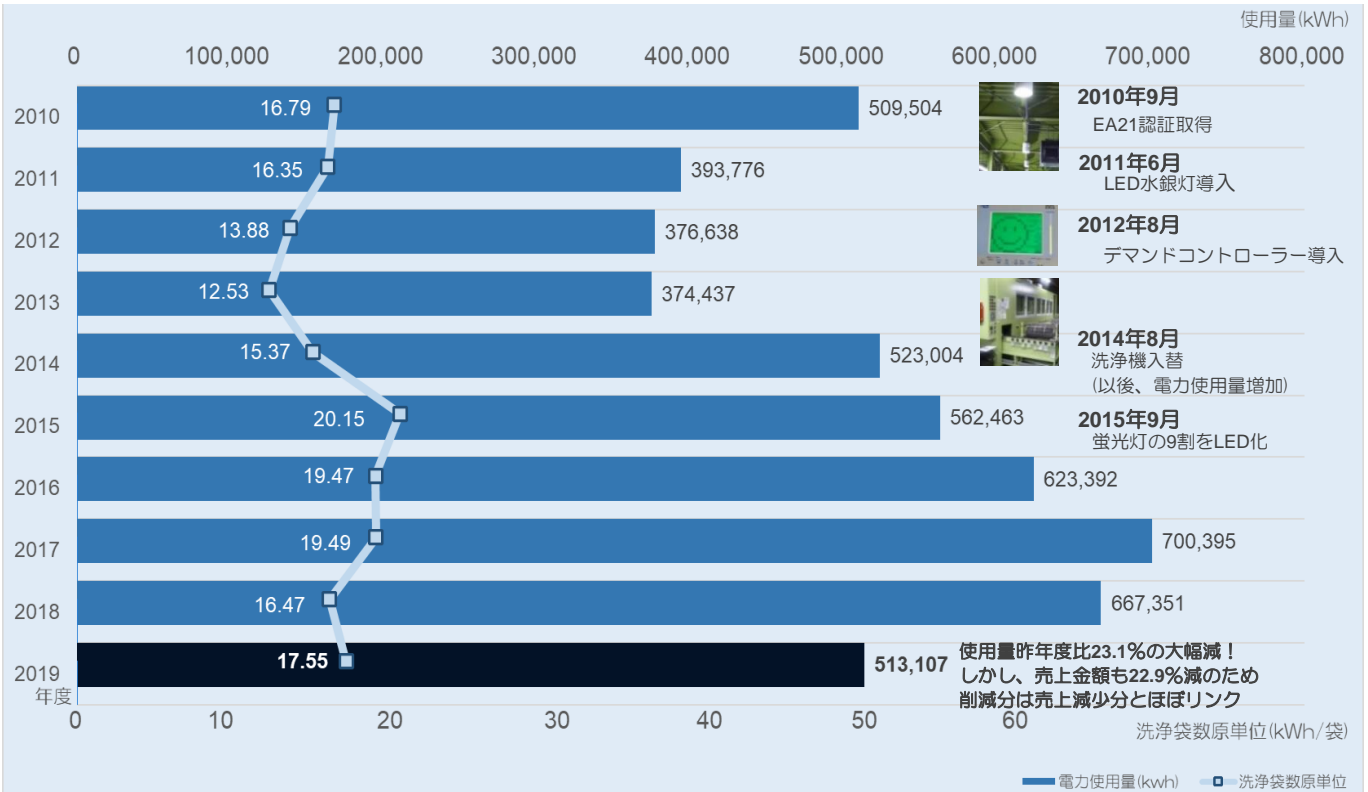
その2. 商品紹介も立派な教育

担当者(田辺)のアイデアに満ち溢れた電力関連の教育は今年も健在！
この回は超低価格LED電球を紹介。彼の宣伝に負けて実際に購入した者がいたとかいないとか…



Check
確認

電力使用量、原単位の推移、取組の評価と次年度の取組内容



活動概要	関連SDGs	評価点	寸評、次年度以降の取組内容
電力使用量の記録 (原単位目標達成率)	12 持続可能な消費の模式 13 気候変動への対応	10点	原単位目標達成率115.16%(達成)。 次年度は基準年△5%を目標とする。
電力に関する教育の実施	4 質の高い教育をみんなに 13 気候変動への対応	10点	計画通り年6回実施。 次年度は年5回実施を計画。
朝礼時の啓発教育実施	4 質の高い教育をみんなに 13 気候変動への対応	3点	計画12回に対して実施4回。 次年度は夏冬の年2回実施予定。
エコ替え提案	7 持続可能なエネルギー 12 持続可能な消費の模式 13 気候変動への対応	10点	チラー冷却用ミスト噴霧器を設置。 次年度も機器の研究、提案を実施。
デマンド目標値達成	13 気候変動への対応	10点	286kW(達成、昨年度比△3kW)。 次年度も目標は290kW(据置)とする。
デマンド目標遵守のための 取組実施	13 気候変動への対応	10点	例年通り確実に実行。 次年度も同様の取組を実施。
製造ラインのエア配管 漏れチェックの実施	13 気候変動への対応	10点	計画通り実施。 次年度は環境経営計画からは外すが、 現場の管理項目として継続。
温・湿度の記録	13 気候変動への対応	10点	全エリア計画通り実施。 次年度も継続。

次年度取組に関する事務局からの提案事項

2007年に土地購入・増築した部分については別契約(従量電灯B)であり、微小ではありますがグリーン電力ではありません。この部分の契約を見直し、グリーン電力化することを次年度環境経営計画に加えることを提案しました。

 Act
見直し

電力削減に関する代表者の評価・指示

従業員も電力削減に協力してくれているが、本年度はコロナ問題で難しいと思う。特に検査部門はエアコンを入れて部屋を閉め切ることができず、エアコンを最大にしながら窓やドアを開放しなければならず、電力使用量増加は避けられないだろう。

8.PDCAで見る2019年度環境活動

灯油使用量(目標値：稼働日原単位(ℓ/日))

Plan
計画

中期環境経営目標

(単位: ℓ/日)

年度	目標値	基準年度比
2019	5.81	6%削減
2020	5.75	7%削減
2021	5.69	8%削減
2022	5.62	9%削減
2023	5.56	10%削減
基準年度	2010年度	
基準年度実績	6.18 ℓ/日	

中期環境経営目標達成のために
使用は冬期の暖房器の燃料用に限定される灯油。

暖房器は年代物で、そこも使用量増に影響してはいるものの、「長く使うこともエコ」との代表者からの指示もあり、しばらくこのまま使用し続ける方針。

であればメンテナンスを怠らず、「長く省エネ運転」。これを目指すしかありません。

Plan
計画

2019年度環境経営計画とSDGs

項目	SDGs	実施責任者
毎月の灯油使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。	12 持続可能な消費の模式	三輪 千鶴
暖房器の出力を「中」以下に絞ると共に、稼働中は重ね着(ウォームビズ)を実施する。	13 気候変動に起因する影響の軽減	全従業員
暖房器のフィルター、熱交換器清掃を実施する。	7 持続可能なエネルギー 12 持続可能な消費の模式	石原 隆雅

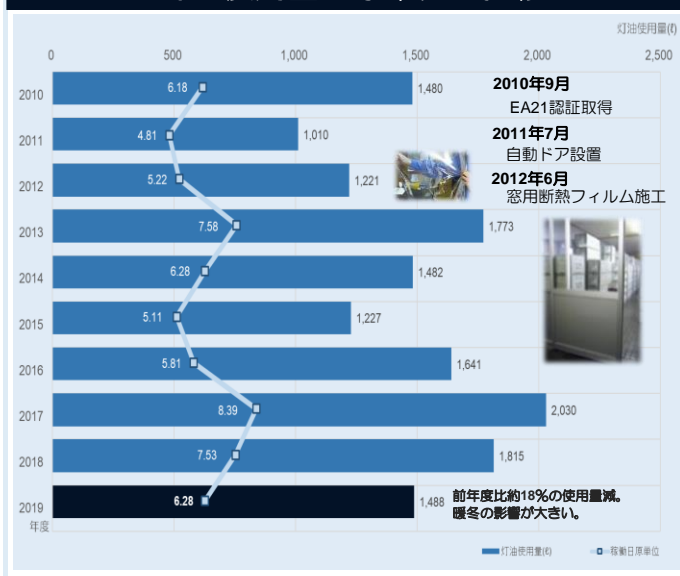
灯油使用量原単位算出式：使用量(ℓ)÷当月の稼働日数(日)

Do
実施

Check
確認

使用量・原単位の推移、分析、取組の評価と次年度の取組内容

灯油使用量・原単位の推移



2019年度灯油使用量削減の活動に関する分析

前年度比使用量約△18%、原単位約△17%の減少。暖冬であったことが大きかったものと判断します。
しかし、原単位目標には惜しくも届かず……。古い機器の維持の難しさを痛感しています。

取組の評価と次年度の取組内容

数値目標の達成度 関連SDGs
9点(原単位目標達成率92.47%)

出力遵守、重ね着の実施 関連SDGs
10点(全員が実施)

フィルター、熱交換器清掃 関連SDGs
10点(計画通り実施)

次年度の取組内容
次年度も原単位目標未達のため、目標据え置き。

Act
見直し

灯油使用量削減の取組に関する代表者の評価・指示

暖房専用の灯油暖房器は不思議なくらい長持ちする。先々代の社長が八潮市に初めて自前の工場を作ったときからあったので、40年も長持ちし、故障もほとんどない。
万一、直せない故障が起きたら、その時は電気式に替える構想を持っている。

LPG使用量(目標値：稼働日原単位(kg/日))

Plan
計画

中期環境経営目標

(単位:kg/日)

年度	目標値	基準年度比
2019	2.74	9%削減
2020	2.71	10%削減
2021	2.68	11%削減
2022	2.65	12%削減
2023	2.62	13%削減
基準年度		2010年度
基準年度実績		3.01kg/日

中期環境経営目標達成のために
主な用途はフォークリフト燃料と湯沸器。使用量は少ないものの、活動当初と比べ約30%強の大幅削減に成功しています。

そんな中、2019年度より削減活動の担当者を入社2年目の新人にバトンタッチ。良い流れを継続させつつ新担当者自身の成長の実現も目指していく活動。これを目指し、知恵を絞っていきます。

Plan
計画

2019年度環境経営計画とSDGs

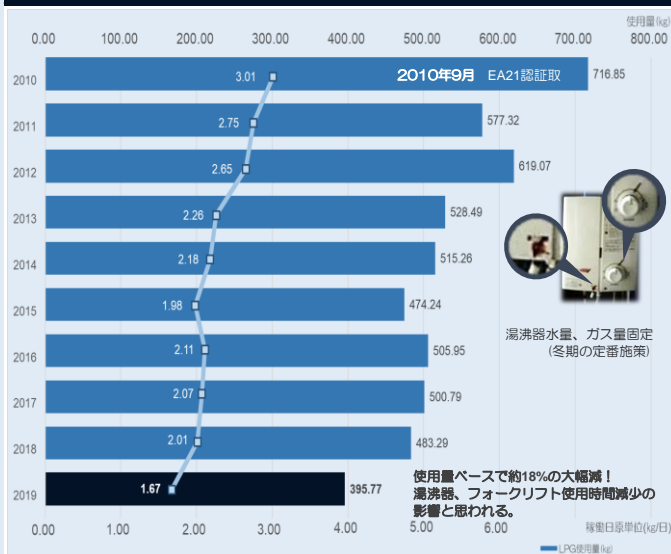
項目	SDGs	実施責任者
毎月のLPG使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。	12 持続可能な消費と生産 13 気候変動に起因する影響の軽減	グエン ヴァン トゥアン
フォークリフト運転技能講習終了者を増員する。	4 質の高い雇用と経済成長 13 気候変動に起因する影響の軽減	来 満 来 昌伸
手洗い時瞬間湯沸器使用禁止期間を設定し、事前啓発と効果の検証をそれぞれ行う。	4 質の高い雇用と経済成長 13 気候変動に起因する影響の軽減	グエン ヴァン トゥアン
冬期の瞬間湯沸器のガス、水量を設定し、事前遵守啓発と事後の効果検証をそれぞれ行う。	4 質の高い雇用と経済成長 13 気候変動に起因する影響の軽減	グエン ヴァン トゥアン

LPG使用量原単位算出式：使用量(kg)÷当月の稼働日数(日)

Do
実施Check
確認

使用量・原単位の推移と分析、取組の評価と次年度の取組内容

LPG使用量・原単位の推移と分析



2019年度LPG使用量削減の取組の評価

数値目標の達成度

10点(原単位目標達成率164.14%)

免許取得者増員

0点(増員なし)

夏期湯沸器使用禁止

10点(前任者指導の下、確実に実施)

冬期湯沸器使用ルール遵守

10点(前任者指導の下、確実に実施)

関連SDGs



関連SDGs



関連SDGs



関連SDGs



次年度の取組内容

担当者交代初年度。前任者の丁寧な引継ぎのお陰で活動開始以来最高の結果を残すことができました。

次年度の課題は新担当者のオリジナリティを引き出すこと。前任者とも協力し、まずはアイデアを発しやすい環境づくりに努めます。

Act
見直し

LPG使用量削減の取組に関する代表者の評価・指示

4月から手洗い用湯沸器を使用できないのは、実に辛いものである。まだこの時期朝晩は水が冷たく、洗った手が凍えるためである。
現在のLPG湯沸器が壊れたら、順次、電気式湯沸器に替える構想を持っている。

8.PDCAで見る2019年度環境活動

ガソリン使用量(目標値：総量(ℓ))

Plan 中期環境経営目標

年度	目標値	基準年度比
2019	1,420.81	1%削減
2020	1,406.45	2%削減
2021	1,392.11	3%削減
2022	1,377.75	4%削減
2023	1,363.40	5%削減
基準年度	2018年度	
基準年度実績	1,435.16 ℓ	

(単位:ℓ)

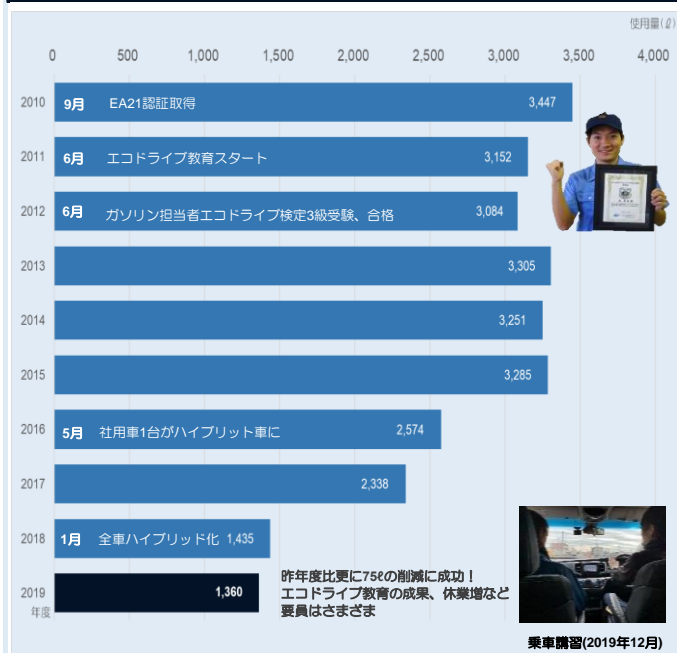
中期環境経営目標達成のために社用車が2台ともハイブリッド車となったことで、2015年度(2台ともガソリン車だった最後の年)と比べ約56%の使用量削減を実現しています。これ以降の削減の成否の鍵を握るのは、日々のエコドライブや適正なエアコン使用などの日常管理。エコドライブ啓発を一層充実させ、ハイブリッド化と適正使用の相乗効果でハイレベルな削減の実現を目指します。

Plan 2019年度環境経営計画とSDGs

項目	SDGs	実施責任者
毎月のガソリン使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。	12 持続可能な消費と生産、13 気候変動対策	来 尊重
効果的なエコドライブ方法、低公害車の利点等に関する啓発教育を行う。	3 持続可能なエネルギー、4 質の高い教育をみんなに、7 持続可能なエネルギー、13 気候変動対策	来 尊重
実車によるエコドライブ乗車体験実習を行う。	3 持続可能なエネルギー、4 質の高い教育をみんなに、13 気候変動対策	来 尊重

Do Check 使用量の推移と分析、取組の評価と次年度の取組内容

ガソリン使用量の推移



2019年度ガソリン使用量に関する分析

社用車が完全にハイブリッド化された2018年度と比べ更に75ℓの削減に成功。ガソリン担当者が地道に続けているエコドライブ啓発の成果の他、生産量減少に伴い休業日が設けられたというネガティブな要因も減少の要因となっています。

2019年度ガソリン使用量削減の取組の評価

数値目標の達成度 10点(総量目標達成率104.45%) 関連SDGs 12 持続可能な消費と生産、13 気候変動対策
 エコドライブ教育 10点(年4回計画、計画通り実施) 関連SDGs 3 持続可能なエネルギー、4 質の高い教育をみんなに、7 持続可能なエネルギー、13 気候変動対策
 実車によるエコドライブ教育 10点(2019年12月25日に計画通り実施) 関連SDGs 3 持続可能なエネルギー、4 質の高い教育をみんなに、13 気候変動対策

次年度の取り組み内容

エコドライブ講習を年4回、実車による講習を年1回実施し、エコドライブへの知識と技術の習得に力を注ぐ活動を続けていきます。

Act 見直し ガソリン使用量削減の取組に関する代表者の評価・指示

社用車として使用されているという意識をわきまえて、常にエコモードに設定し、スタート時の加速はせず、坂道の上りは40km/時以上は出さず、使用ルールも守っている。先日、30km/時制限の道路で10km/時オーバーで罰金を取られてしまった。

来ハトメ環境トピックス2019

②エネルギー使用に関する長期戦略(Ⅰ)

～2030年「夢のCO₂排出量ゼロ操業」へのベストシナリオへ

想像できなかった「今の姿」

当社が環境への取組をスタートさせた2010年度のCO₂排出量は年間約400t。それが10年を経た今、なんと年間8tにまで激減。その姿を、10年前にいったい誰が想像できたことでしょうか。

ここまでくれば次の10年は「夢のCO₂排出量ゼロ操業」という、壮大な夢を描いてみたくなるもの。そこで、現状を踏まえて未来を予測し、まずは10年後のシナリオを示し、夢のCO₂ゼロに向けた長期戦略を描いてみようと思います。

エネルギー別の現状

電力

当社では、従業員の日常生活や生産活動に必要なエネルギーのほぼ全てを電力に依存しています。現在、グリーン電力の恩恵にあずかり、CO₂排出量はゼロという最高の状況が維持できています。しかし、もし化石燃料由来の電力に変更されてしまえば、それに伴いCO₂排出量も復活……、という危うさとも常に隣り合わせの状況です。

灯油

当社では、灯油は冬期の暖房用、しかも限られた場所だけで使用にとどまっています。

その状況が当たり前になっていることから切替の議論も今のところ一切出ていません。

LPG

使用量こそ少ないものの、フォークリフト用の燃料、ガス給湯器、バーナーによる金型焼入れ作業と幅広い用途に使用されているのが、当社LPG使用の現状。

金型焼入れなど、生産に直結するものの、今のところ代替策が見つからないという、難しい部分があるのも辛いところ……。

ガソリン

社用車(2台、主に役員の通勤用)の燃料として使用。

2台とも買替より5年以内と日が浅く、当社社用車の通常の平均購入サイクルが15年前後であるため、10年後のベストシナリオが描きにくい状況ではあります。

2030年シナリオの前提条件

アルミ電解コンデンサ市場が2019年現在の1.5倍になっていること(車載需要の増加を見込む)。

2030年のベストシナリオ

電力 : 現状(グリーン電力購入)を維持
灯油 : 石油暖房器をエアコンに更新
LPG : フォークリフトを充電式に、給湯器を電気式に変更
ガソリン : 現状維持

ベストシナリオでのCO₂排出量予測

エネルギー	2030年度予想	
	使用量	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)
電力	753,401kWh	0
灯油	0ℓ	0
LPG	50kg	150
ガソリン	1,371.86ℓ	3,185
合計	-	3,335

試算条件は以下の通り

2030年度稼働日 : 239日(カレンダーより、生産調整日を設けず、祝日は2020年と同様として計算)

エネルギー別試算根拠

電力 : まず、現在と設備条件に近い2015～2019年度の生産量÷電力使用量を計算し、5年間の平均値(0.00323)を導出。

次に年間見込生産量(2,427百万個、2019年度の1.5倍)を5年間の平均値で割り、現状同様の設備における見込電力量(751,393kWh)を算出。

上記にベストシナリオにおける増加見込み分(1.5tフォークリフト(年間見込使用量813kWh)と電気温水器(年間見込使用量1,195kWh)を加算し、最終的な電力使用量を算出。

灯油 : 石油暖房器を廃止するものとして試算。

LPG : フォークリフトが動力と給湯器が電気式になったものとして試算。なお、金型焼入れに使用分は、今のところ代替策がないため、現在使用量(50kg/年)通りとして試算。

ガソリン : 2019年度の1日あたり使用量(5.74ℓ)×2030年度稼働日(239日)にて計算。

ベストシナリオだけど……

従来の購入サイクルを考慮して2030年までには社用車の買い替えが実現しないと判断したことから、CO₂ゼロ操業の一番のネックは現時点でガソリンと焼入れ作業との結論に至りました。

また、多少楽観的に石油暖房器の廃止や電動式フォークリフト、電気給湯器への入替が実現するものとして試算してはいますが、現状ベスト思考が根強いので、実現のためのハードルは残念ながらかなり高いと言わざるを得ません。

次は36ページにてワーストシナリオを御披露します(ちょっと怖いですが……)。

8.PDCAで見る2019年度環境活動

廃棄物(事業系一般、産廃(廃ウエス)、紙くず)排出量

Plan
計画

中期環境経営目標

事業系一般廃棄物	年度	目標値(kg)	基準年度比
	2019	1,723	4%削減
	2020	1,705	5%削減
	2021	1,687	6%削減
	2022	1,669	7%削減
	2023	1,728	8%削減
基準年度:2014年度 基準年度実績:1,795kg			
産廃(廃ウエス)	年度	目標値(kg)	基準年度比
	2019	1,782	1%削減
	2020	1,764	2%削減
	2021	1,746	3%削減
	2022	1,728	4%削減
	2023	1,710	5%削減
基準年度:2017年度 基準年度実績:1,800kg			
紙くず(有価物)	年度	※目標値(%)	基準年度比
	2019	33.64	8%向上
	2020	34.64	9%向上
	2021	35.64	10%向上
	2022	36.64	11%向上
	2023	37.64	12%向上
基準年度:2010年度 基準年度実績:25.64%			

中期環境経営目標達成のために
事業系一般廃棄物：年を重ねる毎に3R※に対する社内の意識がレベルアップ。とてもいい状況です。
しかし、ダメになるのは一瞬。このレベルを維持できるよう、教育や分別に対する啓発には、これまで以上に力を注いでいきます。

産廃(廃ウエス)：新しいものは工程内の検査に、汚れたものは製造現場のモップとしてリユースという使い方が徹底されています。
しかし、近年は目標未達傾向。処分価格高騰の現状を踏まえ、目標未達＝コスト増という意識を浸透させ、目標達成を目指します。

紙くず(有価物)：紙はほかのゴミと分ける、有価物として売るのということは、もはや社内の常識となっています。
引き続き啓発活動に努め、毎年目標達成を目指して取り組みます。

※3R：ゴミを減らし、資源として生かすために大切とされる、Reduce(減らす)、Reuse(繰り返し使う)、Recycle(資源に戻す)の3つの言葉の頭文字をとって3Rという。

Plan
計画

2019年度環境経営計画とSDGs

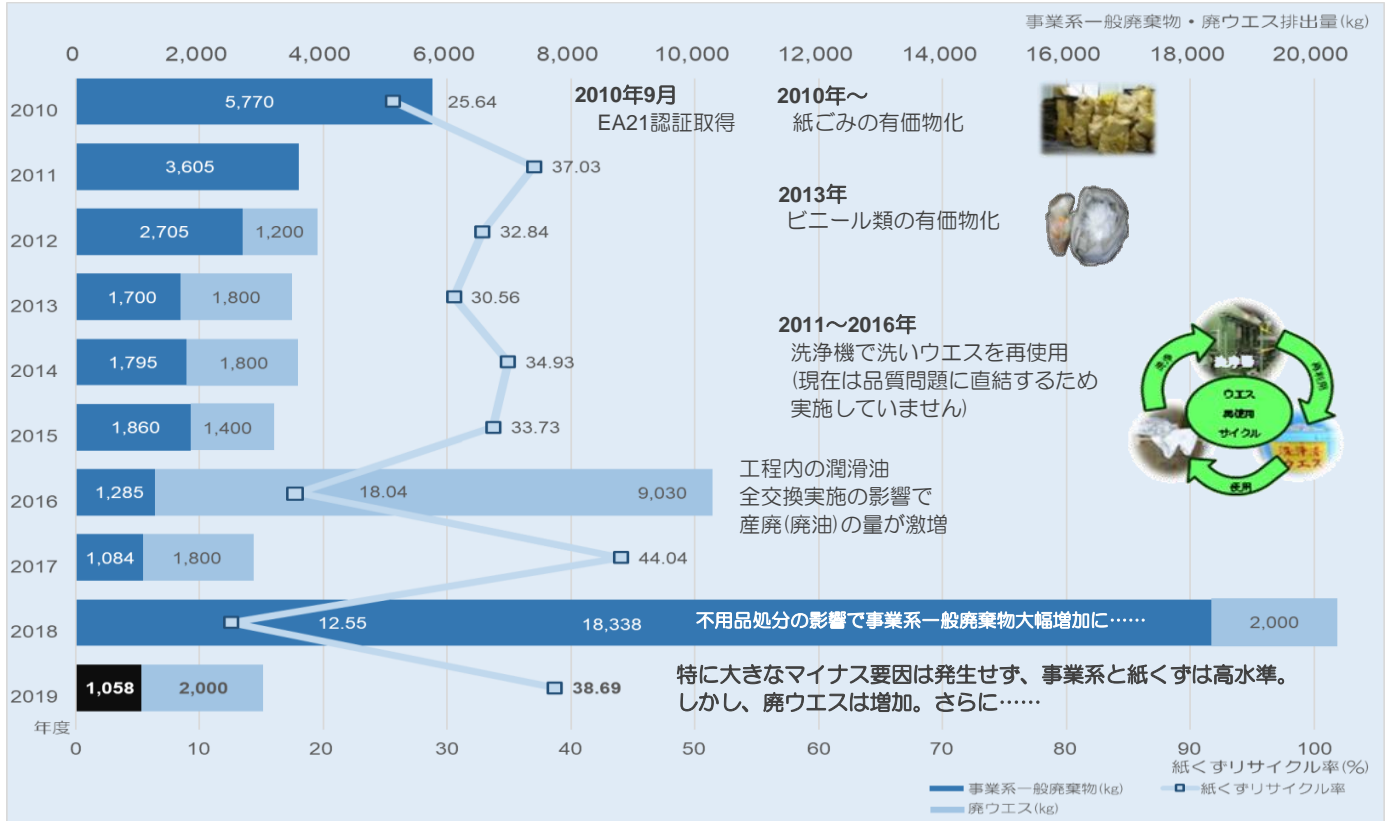
	項目	SDGs	実施責任者
事業系一般廃棄物	毎月の事業系一般廃棄物排出量を記録し、各月ごとの見直しを行う。		加茂 隆弘
	工程内検査にて使用するウエスについて、床清掃用モップとしてリユースする。		1F従業員
	分別が確実に行われているか定期的に確認し、問題があれば是正及び指導する。		加茂 隆弘
	廃棄物削減に繋がる教育(年2回)を実施する。	 	加茂 隆弘
産廃(廃ウエス)	毎月の産業廃棄物(廃ウエス)排出量を記録し、各月毎の見直しを行う。		セノ リト アンジェロ 井出 学(11月～)
	「見える化」ボードの内容を定期更新し、排出量削減啓発を行う。	 	セノ リト アンジェロ 井出 学(11月～)
	毎日廃ウエス分別が徹底されているかを確認し、不備がある場合は分別を行う。		セノ リト アンジェロ 井出 学(11月～)
紙くず(有価物)	毎月の紙くずリサイクル量を記録し、各月ごとの見直しを行う。		有山 浩一郎
	コピー機使用者全員に裏紙印刷、両面印刷、集約印刷の方法を指導する。	 	有山 浩一郎
	紙と事業系一般廃棄物の分別が正しくできているか、毎日確認する。		パート従業員

※紙くず(有価物)の目標値はリサイクル率(算出式：紙くず(kg)÷(事業系一般廃棄物(kg)+産廃(kg)+紙くず(kg))×100)

Do
実施

Check
確認

排出量(リサイクル率)、原単位の推移、取組の評価と次年度の取組内容



2019年度の主な取組と結果分析

従業員の日々の分別活動を基本として、QC会議における廃棄物に関する教育(事業系一般廃棄物、年2回)、「見える化」ボードによる啓発(廃ウエス)などを実施。

11月に廃ウエス担当が一身上の都合により退職したり、紙くずの引き取り基準が厳しくなり、シール台紙などの表面処理された紙の受け入れが停止されたりと、様々なマイナス要因も発生しました。

2019年の評価と次年度の取組内容

- 事業系一般廃棄物関連の取組
数値目標の達成度 関連SDGs 10点(達成率164.46%次年度は目標値を更に1%分別徹底、モップリユース 関連SDGs 10点(リユース方法に問題あるも確実に実施。)次年度はリユース方法の追求も必要。)
- 廃棄物関連の教育 関連SDGs 10点(計画通り実施。次年度も年2回実施予定)

- 産廃(廃ウエス)関連の取組
数値目標の達成度 関連SDGs 8点(目標達成率89.1%、未達につき目標据置)削減啓発 関連SDGs 10点(「見える化」ボードと朝礼にて実施)未達続いているため、次年度は更に注力)分別の徹底 関連SDGs 10点(次年度も継続して実施)
- 紙くず(有価物)関連の取組
数値目標の達成度 関連SDGs 10点(達成率115.01%。次年度は更に1%向上へ)コピー機使用法指導 関連SDGs 2点(個別指導に留まり全体指導はできず)次年度は使用方法をコピー機前に掲示予定)
- 事業系と有価物分別 関連SDGs 10点(昨年同様問題なし。もちろん継続)次年度は今年度の施策に加え
- 廃棄物処分の誤り事例の写真掲示(事業系)
- 紙くず集積所ポスター作成(紙くず)の2点を施策に追加します。

Act
見直し

廃棄物排出量削減の取組に関する代表者の評価・指示

紙くずは有価物として、近くの紙問屋へ運んで売ることが、売上単価の極端な値下げに驚いている。以前は1,000円、2,000円で売れたものが10円、15円になり、運ぶ労賃すら出ない。それでも、分別して有価物として売る努力を続けていることを評価する。

8.PDCAで見る2019年度環境活動

【有価物】 廃アルミ排出量(目標値:洗浄袋数(調整)原単位(kg/袋))

Plan 中期環境経営目標

年度	目標値	基準年度比
2019	8.84	9%削減
2020	8.74	10%削減
2021	8.64	11%削減
2022	8.54	12%削減
2023	8.45	13%削減
基準年度	2010年度	
基準年度実績	9.71kg/袋	

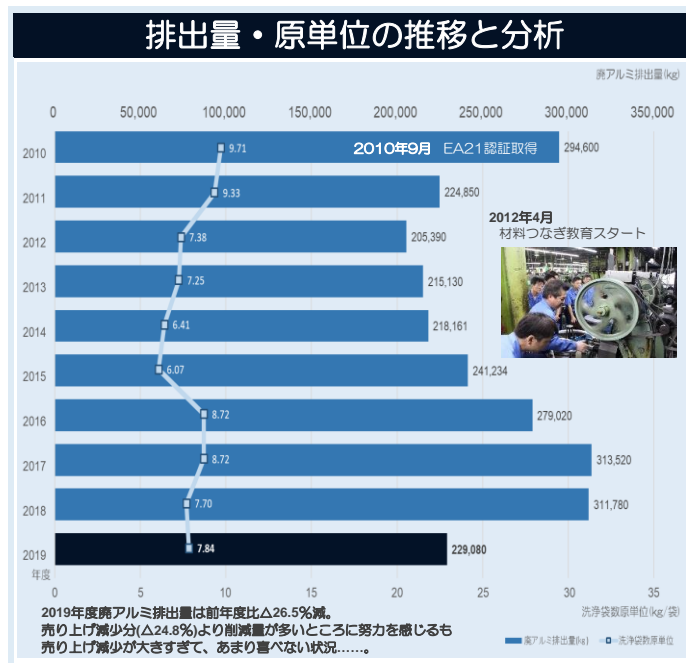
中期環境経営目標達成のために
 廃アルミとは製品製造に使用するアルミ材料の内、製品にならなかった部分のことで、この量が多いということは生産過程に様々な無駄があったということを意味します。
 不良品を発生させないといった日常管理はもちろん、スクラップの発生量の少ない金型の開発といった高度な取組も必要。利益に直結する部分なので、社内の英知を結集し、目標達成を目指します。

Plan 2019年度環境経営計画とSDGs

項目	SDGs	実施責任者
毎月の廃アルミ排出量を記録し、各月毎の見直しを行う。	12	加藤 直
L寸法調整ミスによるスクラップ発生防止のため、調整作業後に再度L寸法確認を行う。	9	加藤 直
材料台のグリースを3ヶ月毎に交換する。	9	井出 学
製品缶への工夫(転倒防止策と小型化)を検討する。	9	井出 学
缶開けルール徹底のための啓発活動を行い、その効果を検証し、必要があれば指導を行う。	4, 9	加藤 直
正しい材料つなぎ方法について朝礼時に講習を行う。	4, 9	井出 学
ライン別、担当者別の不良率の「見える化」を実施する。	9	井出 学

廃アルミ排出量原単位算出式：※基準年度の洗浄袋数を基に調整した排出量(kg)÷洗浄袋数(袋)
 ※洗浄袋数の調整方法については24頁をご覧ください。

Do Check 排出量・原単位の推移、分析、取組の評価と次年度の取組内容



取組の評価と次年度の取組内容

数値目標の達成度	10点(達成率113.97%、次年度更に△1%削減)	関連SDGs	12
L寸法確認	7点(確認不備3件。次年度目標0件)	関連SDGs	9
材料台グリース交換	10点(計画通り。次年度も実施)	関連SDGs	9
製品缶対策	0点(経済的事情で実施せず。状況が許せば実施)	関連SDGs	9
啓発教育(缶開け、つなぎ)	10点(どちらも計画通り。次年度も実施)	関連SDGs	4, 9
不良率の「見える化」	10点(毎月実施。次年度も実施)	関連SDGs	4, 9

Act 廃アルミ削減に関する代表者の評価・指示

製造工程でスクラップにした製品を毎月集計し、不良品の一部として認識したら良いと思う。袋ごとの集計で個数は分からないが「現場発見の不良品」として作業員の検査意識を高める意味がある(洗浄記録にスクラップにした個数が記録してある)。

来ハトメ環境トピックス2019

③エネルギー使用に関する長期戦略(Ⅱ)

～2030年のワーストシナリオ～

ベストがあれば、当然ワーストも……

32ページで「10年後の当社CO₂排出量は3.3t-CO₂」とのベストシナリオを御披露しました。「ベストなのに、何で0(ゼロ)じゃないの?」とか、突っ込みどころ満載ではありますが、これでも相当難しいのは、間違いありません……。

しかも、これはあくまでもシナリオ。1年前の夏、「来年はオリンピックで日本はさぞにぎやかになるだろうね」なんて言っていたものの、蓋を開けてみれば全くの別世界——。世の中大混乱中の昨今、ワーストもまた考える必要が間違いなくあるなー、って強く実感してしまうんですよ。コロナのせいで……。

何はともあれ、現時点で考え得る当社のワーストシナリオを、恥を忍んでここに披露します。

2030年ワーストシナリオ

まず前提の試算条件(市場規模1.5倍、稼働日239日)は32ページと同様であるものとします。

電力

価格的にメリットのある化石資源由来の電力購入に切替問題が再燃。

2019年の切替問題勃発時、時の役員が環境意識の高さと責任者の熱心な説得が奏功し、グリーン電力が維持された。しかし役員、責任者共に別の人間に代替わり。両者間で利益優先の下議論が進められ、結果、CO₂排出係数※0.000462t-CO₂/kWhの電力へと変更されることに。

灯油

2019年の代表者の予言通り、灯油暖房器はそれから10年間生き延び、今なお現役。

10年前の1.5倍の規模の売上で、年間を通じて絶好調。もちろん冬場の残業は日常茶飯事。設置後50年となった暖房器はフル稼働状態。

LPG

物持ちがよい当社。LPGフォークは多少古さこそ感じるもののなお現役。また、ガス給湯器は何の疑問も感じられぬまま使用され、数年前に3台ある内の1台が故障した際にも何の議論もなされぬまま新しいガス湯沸器に入れ替えられた。

因みに金型焼入れは、相変わらずガスバーナーで行われている状態。

ガソリン

2台の社用車はそろそろ入替のタイミングとなったものの、なお現役。

※令和2年1月7日環境省/経済産業省公表電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス算定排出用)—平成30年度実績—の内、東京電力パワーグリッド(株)の調整後排出係数。

ワーストシナリオでのCO₂排出量予測

エネルギー	2030年度予想	
	使用量	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)
電力	753,401kWh	348,071
灯油	2,030ℓ	5,054
LPG	511kg	1,532
ガソリン	1,371.86ℓ	3,185
合計	-	357,842

32ページのベストシナリオ(3,335kg-CO₂)と比較すると、CO₂排出量は実に約107倍！驚愕の結果に、ただただ笑うしかありません……。

ここで予測した10年後の世界、全体的に見てまじいと思われる部分をまとめると、こんなところになるのではないのでしょうか。

- 十分な環境経営に関する意識が育たぬまま、経営者、責任者の代替わりのタイミングを迎えてしまったこと。
- 現状の設備に全く疑問を持つことなく使い続けていること。また、買替のタイミングを迎えた際にも、迷うことなく現有設備への入替を行ってしまっていること。

当社は、環境認証を取得した2010年度と比べおよそ98%のCO₂排出量削減に成功しています。しかし、それはあくまでも今までの話。この先の10年間で、環境問題や現有設備に対し、疑問を呈することなくただ何となく過ごす時間となったとしたら……。残念ながらワーストシナリオの実現は確実なもの、となってしまうことでしょう。何せそれが、何も考えなくて済む一番楽なやり方であるのは間違いないのでから。

会社は進化していかなければなりません。例えば今が良い状態であるとしても、経営者や責任者が何十年も変わらない状態が好ましいはずがありません。新しい人間がどんどん現れ、新しい考えでその時代にマッチした企業として存続し続ける。これこそ、会社としてのあるべき姿であると、私は考えます。

環境活動もまた同じ。責任者が長く留まることなく、多くの従業員に様々な経験をさせながら新たな責任者候補を育成し、機を見てバトンタッチしていくのが、望ましい姿であると考えています。私自身、あと何年責任者としての任を与えられるかは分かりませんが、その間に前に示したベストシナリオに、できればそれ以上にもっていけるように、会社が、そして責任者が果たすべき課題を次に示し、現時点における十年後に向けた指針にしようと思います(38ページに続く)。

8.PDCAで見る2019年度環境活動

水使用量(目標値：月稼働時間原単位(m³/h))

Plan 中期環境経営目標

年度	目標値	基準年度比
2019	0.209	3%削減
2020	0.206	4%削減
2021	0.204	5%削減
2022	0.202	6%削減
2023	0.200	7%削減
基準年度	2015年度	
基準年度実績	0.215m ³ /月稼働時間	

中期環境経営目標達成のために日々の徹底した節水行動、冷却装置の見直しにより実現した年間使用量をここ数年間維持。節水意識が高い状態で維持されています。懸念すべきは昨年度より開始した夏期のデマンド抑制を狙ってのチラーの冷却フィンへの水噴霧。その費用対効果を省エネ診断士と相談しながら、継続の可否を検討します。

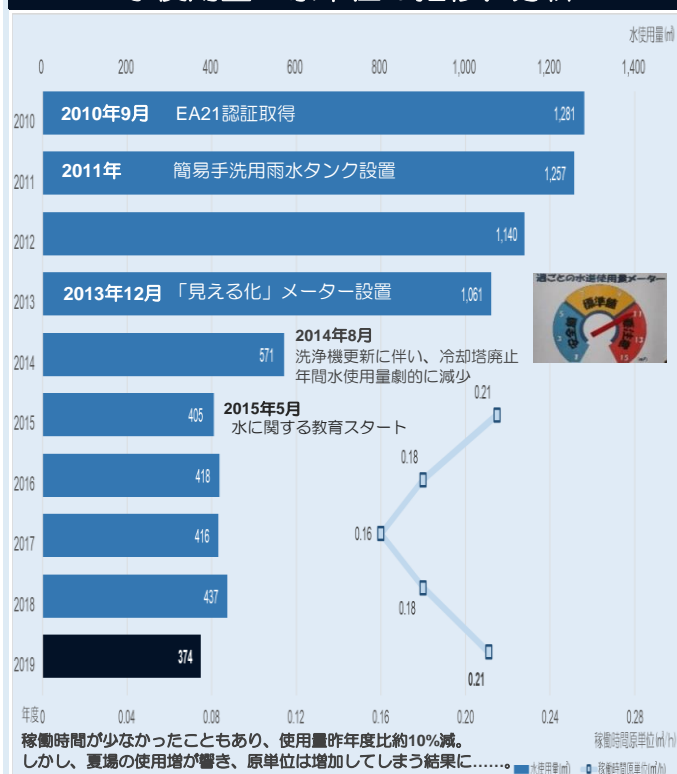
Plan 2019年度環境経営計画とSDGs

項目	SDGs	実施責任者
毎月の水使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。		宮本 哲次
節水のための啓発教育(年2回)を実施する。		宮本 哲次
雨水タンクの水を補助手洗いと浄化槽汲み取り後の水補充に利用する。		宮本 哲次
漏水、無駄遣い等の注意喚起のため、毎週水曜日に水道メーターを確認し、速報値を掲示する。		宮本 哲次
節水ポスターを実状に即したものに更新、掲示する。		宮本 哲次

水使用量原単位算出式：使用量(m)÷月稼働時間(h)

Do Check 使用量・原単位の推移、分析、取組の評価と次年度の取組内容

水使用量・原単位の推移、分析



取組の評価と次年度の取組内容

数値目標の達成度 9点(達成率98.84%。夏季の大幅未達が響いた)
節水に関する教育 10点(計画通り実施。次年度も年2回の実施を計画)
雨水タンクの使用 4点(実施にムラあり。保守点検業者への教育必要)
漏水点検 10点(確実に実施、記録もあり。次年度も継続)
節水ポスター更新 10点(更新されたことを確認。次年度も実施)

次年度は数値目標は据え置きとします。チラーへのミスト噴霧については、デマンド抑制と冷却効率向上効果が確認されたため、継続することとしました(状況によっては、目標の見直しの検討が必要かも知れません)。

Act 水使用量削減に関する代表者の評価、指示

非常に少ない削減率だが、確実に目標をクリアしたいものだと思う。今年はコロナ対策で、徹底した手洗いを心掛けているので、使用量の増加が懸念される。

来ハトメ環境トピックス2019

④エネルギー使用に関する長期戦略(Ⅲ)

～10年後のために今、そしてこれからすべきこと～

必要なのは「道しるべ」

今まで2ページにわたり、10年後の市場動向から当社のエネルギー消費の未来を予想し、ゴールに至るまでの過程の判断次第でどれだけの違いが出るのかを予想した結果を示しました。

そこで気づかされたのは、その時々ちょっとした判断ミスが、CO₂排出量削減を目指す上での大きな致命傷となりかねない、ということ。

そうすると、やはり必要なのは「道しるべ」。この通りに進めば、ベストシナリオ実現はまず確実(なはず)。

そこで最後に当社がハッピーな10年後を迎えるための「道しるべ」をここに示し、シナリオ予測を締めくくります。

3つの「道しるべ」

その1 まずは教育あるのみ

毎週火曜日に実施している定例会議(QC会議)。その中でほぼ毎回実施している各種テーマ別教育を今後も今のペースで続けることがまず一つの提言。

右の年間計画書に基づき、各テーマを担当する講師が毎回工夫を凝らし教材を作成。それに基づき講義形式にて教育を行うというのが基本スタイル。

教育のテーマとして、最先端のエコ機器の話が取り上げられるこ

ともしばしば。それが実際の購入行動に与える効果は絶大。LED照明やハイブリッド車などがまさにその好例。

教育がこれから先も続くことにより、こうした素晴らしい流れが今後も続き、設備更新を重ねるたび毎に脱炭素化が実現できることでしょう。

その2 未来のトップの思想を育むのは今

環境性能よりも価格を重視した判断が横行すれば、結果として長期にわたり脱炭素とは程遠いスタイルをとらざるを得なくなってしまう。先に述べた電力のワーストシナリオにて示したのは、まさにこの一例と言えるでしょう。こんな未来を招かないために、今から我々ができることとは？それは未来の当社のトップ、すなわち現在当社にいるすべての従業員に、脱炭素こそ将来の当社並びに我々が目指すべきスタ

月	日	開催名	講師	会場	月	日	開催名	講師	会場
1	11	エコドライブ講習	栗原	本社	9	11	エコドライブ講習	栗原	本社
2	11	省エネルギー講習	栗原	本社	10	11	省エネルギー講習	栗原	本社
3	11	省エネルギー講習	栗原	本社	11	11	省エネルギー講習	栗原	本社
4	11	省エネルギー講習	栗原	本社	12	11	省エネルギー講習	栗原	本社
5	11	省エネルギー講習	栗原	本社	1	11	省エネルギー講習	栗原	本社
6	11	省エネルギー講習	栗原	本社	2	11	省エネルギー講習	栗原	本社
7	11	省エネルギー講習	栗原	本社	3	11	省エネルギー講習	栗原	本社
8	11	省エネルギー講習	栗原	本社	4	11	省エネルギー講習	栗原	本社
9	11	省エネルギー講習	栗原	本社	5	11	省エネルギー講習	栗原	本社
10	11	省エネルギー講習	栗原	本社	6	11	省エネルギー講習	栗原	本社
11	11	省エネルギー講習	栗原	本社	7	11	省エネルギー講習	栗原	本社
12	11	省エネルギー講習	栗原	本社	8	11	省エネルギー講習	栗原	本社

イルという共通認識を形成しておかなければなりません。

日頃の環境教育が未来の経営陣の思想形成に資するものとなる。そう思って臨めば、教育の講師役を務める側も、講義を受ける側も、今より緊張感をもって臨むことができ、ひいては将来の当社をベストシナリオに導く大きな原動力となり得ることでしょう。

その3 責任者は一番学ぶ者であれ

これは、責任者たる私への強い自戒の意味を含めた提言です。責任者が自ら学び、その成果を社内に還元することができれば、間違いなく社内の取組のレベルアップにつなげることができるはず。それだけでなく、責任者自らが意欲的に学ぶ姿勢は、多くの従業員に刺激を与える、社内全体の学びの意識の活性化にも、一役買うこととなることでしょう。

また、正しい知識が備わっていれば、例えば社内が良い方向に進んでいきそうな場面に遭遇したとしても、自信をもって経営者を説得し、正しい方向に導くことだってできる。責任者、読んで字の如く「その責任は実に重大！」なんです……。

社内にも、そして自分自身にも、高い課題を課して、歩み始める10年間。ここに示した「3つの道しるべ」を全従業員で共有し、ベストシナリオという輝かしいゴールを目指し、力強く歩み続ける10年間としていきたいと思ひます。

番外編～ベストシナリオのその先は～

CO₂排出量ゼロを目指す上で、最もネックとなっているのが、自動車と焼入れ作業であることは、先に述べた通りです。

では、これらについては未来永劫諦めなければいけないのか？その答えはズバリ"NO"です。自動車は既によく知られている通り、電気自動車が徐々に普及し始め、10年後には更に高いシェアを獲得することが予想されています(今回のシナリオにおける当社生産量の増加も、この電気自動車の発展を見込んでの試算ですので、是非とも叶ってもらわなければなりません)。また、調べてみると、電気による金型焼入れの技術はすでに実用化されているとのこと。当社におけるCO₂ゼロ操業は、工夫次第で間違いなく実現可能！なのです。

新型コロナ関連の暗い話題が席卷する昨今、ちょっとだけ明るい終わり方ができてほっと一息。の「当社のシナリオ分析」でした。

8.PDCAで見る2019年度環境活動

化学物質(炭化水素)使用量の削減(目標値：洗浄袋数原単位(ℓ/袋))

Plan
計画

中期環境経営目標

(単位: ℓ/袋)

年度	目標値	基準年度比
2019	0.591	2%削減
2020	0.585	3%削減
2021	0.579	4%削減
2022	0.573	5%削減
2023	0.567	6%削減
基準年度	2017年度	
基準年度実績	0.603 ℓ/袋	

中期環境経営目標達成のために炭化水素の用途は、製品の脱脂洗浄。洗浄は、製品の出来栄えに大きくかわる部分なので、単純に削減を追求することができません。

高品質と使用量削減の同時実現。大変難しい課題ではありますが、知恵を絞り、挑戦を続けていきます。

Plan
計画

2019年度環境経営計画とSDGs

項目	SDGs	実施責任者
毎月の炭化水素使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。		斉藤 進
洗浄機の始業時点検及び定期メンテナンスを行う。		来 淳一郎 来 博行

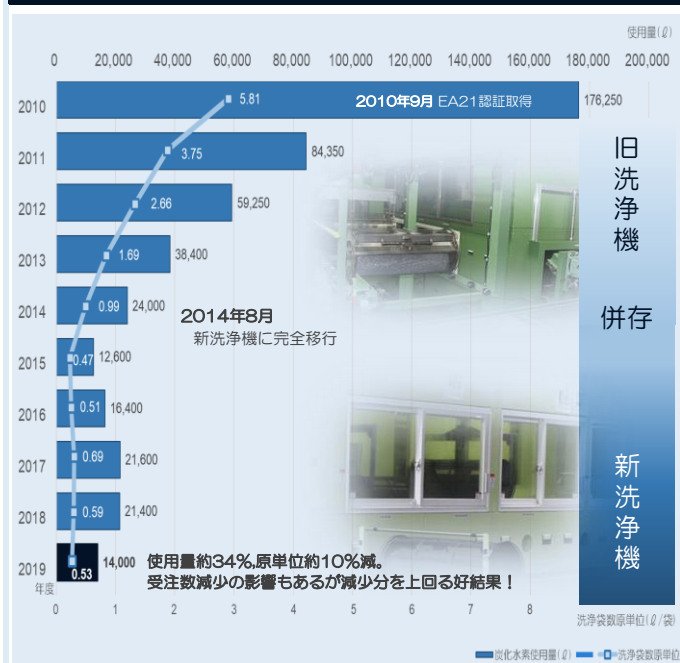
炭化水素使用量原単位算出式：使用量(ℓ)÷洗浄袋数(袋)

Do
実施

Check
確認

炭化水素使用量、原単位の推移、取組の評価と次年度の取組内容



炭化水素使用量・原単位の推移と分析



2019年度の結果分析

2019年度は、昨年度同様、洗浄品質向上のため、高頻度の洗浄槽清掃、炭化水素交換などを実施しましたが、それでも大幅な削減を達成することができました。米中貿易戦争のあおりを受けた受注減の影響も大きかったとは言え、それをも上回る高水準。マメな洗浄機の定期点検、メンテナンスの成果と言っても良いでしょう。

取組の評価と次年度以降の課題

数値目標の達成度 関連SDGs 
 10点(達成率112.29%、次年度更に△1%削減) 関連SDGs 
 メンテナンス実施
 10点(計画通り実施)
 削減の効果が確実に表れているため、次年度も2019年度の施策を継続することとします。ただし、炭化水素については製品の特性に大きく影響する部分であるため、徒に使用量の削減に走ることは厳に慎むべきであると考えます。

Act
見直し

炭化水素使用量削減の取組に関する代表者の評価・指示

2020年度の5～8月は、リーマンショック、東日本大震災を超える受注量の減少が見込まれるので、炭化水素の使用量は相当に減少すると思う。受注減による使用量の減少以上に、洗浄作業時間の減少を工夫し、使用量の減少に繋がりたいと思う。

化学物質(ラタック)使用量の削減(目標値：洗浄袋数(調整)原単位(ℓ/袋))

Plan
計画

中期環境経営目標

(単位: ℓ/袋)

年度	目標値	基準年度比
2019	0.86	8%削減
2020	0.85	9%削減
2021	0.84	10%削減
2022	0.83	11%削減
2023	0.82	12%削減
基準年度	2010年度	
基準年度実績	0.93 ℓ/袋	

中期環境経営目標達成のために

プレス加工時の潤滑油として使用。炭化水素同様、製品の出来栄えに影響を与えるため、品質とのバランスを考慮しながらの削減活動を強いられることとなります。

とは言え、潤滑油全交換などの不可抗力を伴う未達が数度発生したことを除けば、概ね良好に推移。数年来検討されているオイル再生と絡めて、さらに高いレベルでの削減を目指します。

Plan
計画

2019年度環境経営計画とSDGs

項目	SDGs	実施責任者
毎月のラタック化合物使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。	12 持続可能な消費生活	来 淳一郎
オイルクリーニング等オイル再生利用の実験を行い、導入を検討する。	9 産業と資源効率の向上	来 淳一郎

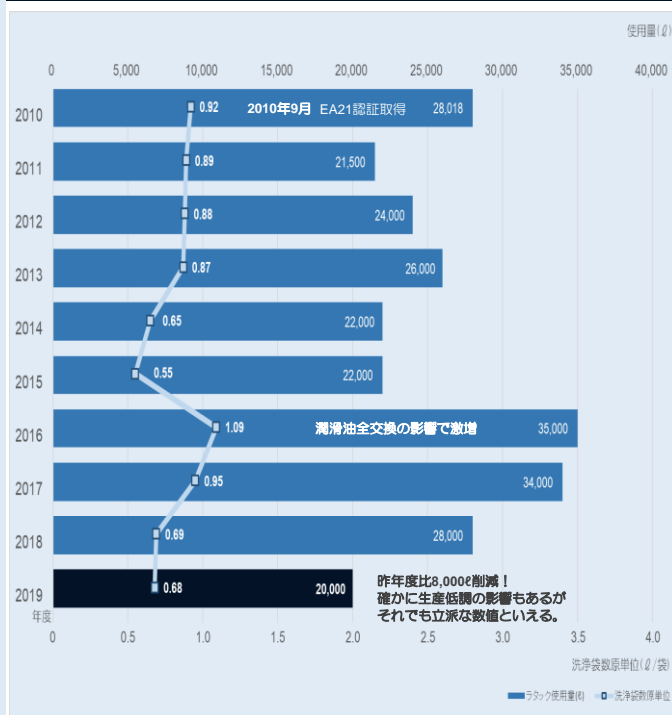
潤滑油使用量原単位算出式：※基準年度の洗浄袋数を基に調整した使用量(ℓ)÷洗浄袋数(袋)

※調整原単位算出方法については、24頁をご覧ください。

Do
実施Check
確認

潤滑油使用量、原単位の推移、取組の評価と次年度の取組内容

潤滑油使用量・原単位の推移と分析



取組の評価と次年度の取組内容

数値目標の達成度

関連SDGs

10点(原単位目標達成率125.9%)

再生利用実験

関連SDGs

5点(有効策は見つからないが、常に検討)

2019年度はオイルの全交換など、使用量増加に大きな影響を及ぼす事象が発生せず、また、年間を通じて生産活動自体も盛り上がりや欠いたことから、前年度から更に8,000 ℓの大幅削減になりました。

削減目標を達成したことから、次年度の活動は基本的に2019年度の活動を継続するものとします。

数年来、調査に留まり実現にこぎつけられていないオイルクリーニング装置については、オイル使用量の削減だけでなく、品質向上にも寄与することが期待されていることから、是非とも実現できるよう、切に願っています。

また、次年度の原単位目標については、目標値を2010年度比△9%(今年度より更に△1%)とします。

Act
見直し

潤滑油使用量削減の取組に関する代表者の評価・指示

炭化水素と同様に、急激な受注減により潤滑油の使用量も落ち込むと思われる。受注が回復して潤滑油の使用量の増加に転じたときが重要で、以前より少ない増加で済むような方策を考えてほしい。

8.PDCAで見る2019年度環境活動

グリーン調達(目標値：グリーン調達率(%))

Plan 中期環境経営目標

年度	目標値
2019	83%以上
2020	84%以上
2021	85%以上
2022	86%以上
2023	87%以上

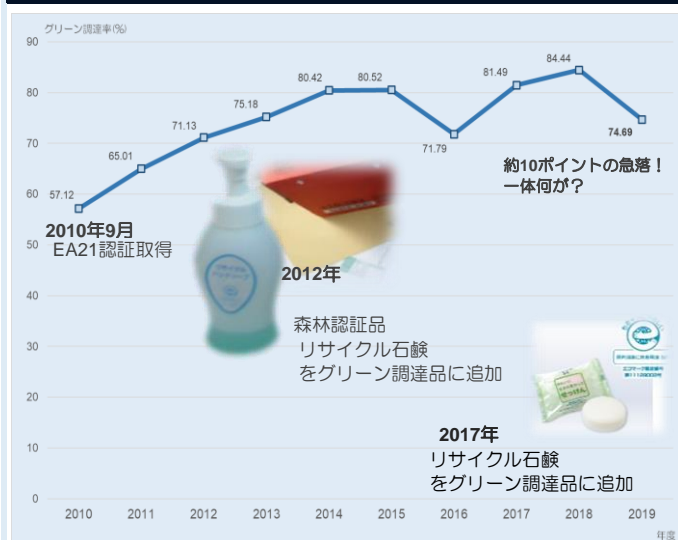
中期環境経営目標達成のために2016年度未達後の是正処置が奏功してか、直近2年間は目標達成を実現できています。小規模な取組ではありますが、環境保全への思いに額の多少は関係ありません。年間目標達成を常に意識し、責任ある消費行動を続けていきます。

Plan 2019年度環境経営計画とSDGs

項目	SDGs	実施責任者
毎月のグリーン調達率を記録し、各月毎の見直しを行う。	12 気候変動	福田 則子
物品購入時、カタログによりグリーン調達品を選別し、優先購入する。	12 気候変動	福田 則子

Do Check グリーン調達率の推移、取組の評価と次年度の取組内容

グリーン調達率の推移と分析



取組の評価、次年度以降の取組内容

数値目標の達成度	関連SDGs	12 気候変動
9点(目標83%以上、結果74.69%)		
適合品の優先購入	関連SDGs	12 気候変動
10点(未達だが実施に問題は見られなかった)		

一体、何があったのか？

2019年度は実施に問題は見られなかったもののなぜ未達に終わってしまったのか。分析の結果は以下の通りです。

●洗剤類の調達ルート変更の影響

当社では、活動当初よりグリーン調達の評価は、文具通販の購入実績から集計することとしています。通販の利便性ゆえか、従来別ルートより調達していた洗剤類、特に使用頻度の多い作業着用洗剤を昨年度より文具通販を通じての購入に変更。これにより、グリーン調達率の低下につながってしまいました。

●グリーン調達不可品の購入

クリップやボールペンの替え芯など、グリーン調達品を選定することが困難なものが繰り返し購入されていたことが、グリーン調達率の低下につながりました。

調達行動自体に問題はなかったものの、目標未達に終わったことから、次年度の目標は据置(グリーン調達率83%以上)とします。

Act 代表者の評価・指示

作業用洗剤にしろ、手洗用洗剤にしろ、汚れの落ちや、それを使用する従業員の好みがある程度反映されるので、仕方ないと思う。

来ハトメ環境トピックス2019

 ⑤通算3度目の「私のSDGs」ふり返り
 ～3年間の成果と今後の課題～

SDGs絶賛練習中！

ここまで法規制、緊急事態への対応、環境負荷と盛りだくさんの内容で2019年度の当社環境活動を御報告してまいりましたが、ここで話題をガラッと変えて「気分転換」といきましょう。

7～12ページの従業員紹介コーナーで、全従業員の顔写真の右に各自の目標らしきものとSDGsアイコンがあったこと、お気づきになられたでしょうか？

実はこれ、当社がSDGs練習のために2017年度より行っている「私のSDGs」というもの。これは、年初に全従業員が一年間の環境・経済・社会に関連する目標を設定してもらい、これを事務局でSDGs化。その結果を全従業員に返却し、SDGs化された目標に各自取り組み、年度末に自己評価の「ふり返り」を行うというもの。この「私のSDGs」で、当社従業員は絶賛「SDGs練習中」なのです。

「練習」とは言え、そこはきちり結果も求めていきたいところ。ここでは、3年目の「私のSDGs」を振り返りながら、この取組を通じた従業員の成長の一端を、お伝えします。

160→165→190

上の数字、「私のSDGs」実施初年度から3年目までの全員の目標数(アイコン換算したもの)を並べたもの。少しずつですが数が増えており、年を重ねるごとに目標が充実してきているのを感じ取って頂くことができるのではないのでしょうか。因みに下のグラフが2019年度の個人目標のアイコン数を集計した結果になります。

NO.	目標	具体的な行動	前年増減	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
1	食料廃棄	雑草、ポラチア?	+4										
2	食料問題解決	食べ残し防止	+1										
3	健康	歩数、睡眠、運動	+6										
4	教育	学習	+3										
5	男女平等	就業分岐	+0										
6	水	水漏れ防止	+0										
7	エネルギー	クリーンエネルギーへの転換	+4										
8	経済成長、労働	雇用、売上目標達成	+1										
9	インフラ、産業化	生産、不燃焼	+1										
10	不平等是正	機会均等、外国人差別改善	+0										
11	都市、居住	住宅購入、防災、SDS	+5										
12	生産、消費	CO2削減、廃棄物削減、CSR	△1										
13	気候変動対策	SDG削減	△1										
14	海洋安全	海洋汚染防止、生態系保護	+2										
15	陸域安全	自然保護、砂防工対策	+0										
16	平和、司法	紛争解決、政治参加、選挙	+1										
17	パートナーシップ	社会貢献、協賛活動	+3										

SDGs個人目標集計結果(2019年度)

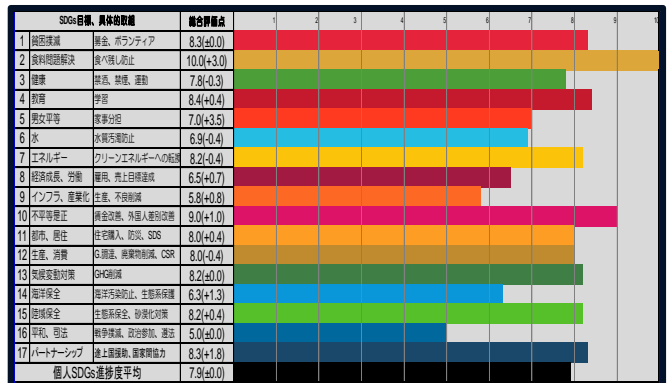
特筆すべきは全員分の目標を合わせると、数の多寡はあれどSDGsの17のゴールの完全網羅を達成していること。当社はシャイな従業員が多いからなのではないでしょうか。当初「目標17」(パートナー

シップ)への取組は0の状態でしたが、現在では、自身が居住する自治体の活動への参加を通じて、「目標17」に取り組む従業員も年々増加中。会社と離れたところでのこのような従業員の成長も「私のSDGs」の一つの効果、と言っても良いのではないのでしょうか。

「ふり返り結果」にも進歩の跡が

下のグラフは2019年度の「私のSDGs」のふり返り結果。言わば、「私のSDGs」に対して、全従業員がどれだけ真面目に取り組めたか、を表したものです。

結果は、7.9点。2017年度7.8点、2018年度7.9点なので、点数的には昨年度と同じという結果。ですが、昨年度「嫁に代わって料理する」とか無理な目標を立てた従業員(私です……)のせいで4点台に終わった「目標5」(男女平等)をはじめ、大幅改善しているものも見られ、全体的に真摯に自身の目標達成のための取組がなされている様子が見て取ることができます。



「私のSDGs」ふり返り結果(2019年度)

今後の課題

こうして3年間続けてみると、「人によって活動に温度差がある」、「取組が完全に個人主体」など、いくつかの課題も見えてきました。理解を促すために目標のモデルを提示したり、事務局と従業員がコミュニケーションを図ることでSDGsに触れる機会を設けたりといった工夫を取り入れながら、4年目を迎える2020年度も、この活動は続けていきます。

個人レベルでSDGs体験ができ、自身の目標達成に向けた行動を通じ、世の中を、そしてそれに取り組む人自身を間違いなく進化させられる「私のSDGs」。当社以外にも広がれば、世の中、もっと良くなるはず。皆さんもこの「私のSDGs」、我々と一緒に挑戦してみませんか？

8.PDCAで見る2019年度環境活動

当社を、もっと知ってほしいから～その他の環境活動(ステ)

以下の活動は、今までに御紹介した法規制遵守、緊急事態対応、KPI(重要業績評価指標)設定項目以外の当社の環境活動になります。

Plan 2019年度環境経営計画とSDGs

	項目	SDGs	実施責任者
適正管理 化学物質の	サプライヤーに対しアンケートを実施し、SDSの更新の要否等を確認する。	  	石原 隆雅
	入手したSDS最新版のコピーを化学物質の使用場所に設置する。	 	宮本 哲次
	社内にて使用する化学物質が法令類に非該当であるかを調査する。	 	石原 隆雅
	社内使用化学物質に関する教育(年2回)を実施する。	   	加藤 直
環境への取組の継続的な改善・向上 活動の質の維持・向上	各項目担当から提案されるエコ替え提案について検討し、効果的且つ導入可能と判断されるものについては、その導入を決定する。	 	来 満 来 昌伸
	各種環境系、労務系資格の案内と資格取得に関する支援を行う。		来 満 来 昌伸
	省エネ支援を受診する。	  	来 昌伸 有山 浩一郎
	QC会議時にeco検定講座(年12回)を実施する。		来 博行
	各種環境系セミナー情報を入手し、その案内を行う。		石原 隆雅
環境教育・訓練の実施	製造現場の作業に関連付けた形での環境教育を毎月実施する。		来 淳一郎
	2F作業現場の業務に即した環境教育を毎月実施する。		佐々木 勝
	備品に対するコスト意識、節約意識向上のため、各備品の価格表記を行い、その管理を徹底する。	 	大小堀 レオニラ
生物多様性に関する取組	生物多様性と持続可能な利用のための教育を行う。	   	石原 隆雅
	社内使用の紙製品は原則森林認証品を使用するものとし、切替がなされていないものについては順次切替を行う。	 	福田 則子
	会社に接する用水路にて定点撮影を行う。	  	石原 隆雅
	定点撮影の結果分析を行う。	   	石原 隆雅

ークホルダーエンゲージメント)～

そのいずれも、お客様、従業員をはじめ全ての関係者様に当社を知って頂き、当社のファンになって頂くための活動となりますので「ステークホルダーエンゲージメント」という視点でこれらの活動の実施状況を御紹介します。

	項目	SDGs	実施責任者
5 S の 徹底	各グループ毎月1個以上の5S活動を実施する。	 	全従業員
	各グループの5Sの実施状況の記録及び掲示を行い、5S活動の活性化を推進する。	 	山崎 洋幸
地域 貢献	八潮市防火安全協会主催の環境ボランティア活動に参加する。	  	来 昌伸
	QC会議時に環境ボランティア実施状況の報告を行う。	 	ボランティア参加者
	ペットボトルキャップの収集、寄付を通じた社会貢献活動を実施する。	  	来 博行
S D G S	SDGsに関する個人目標を策定し、その達成に向けて行動する。	✖	全従業員
	SDGsに関する情報発信及び啓発を行う。	 	石原 隆雅
情報 開示	項目	SDGs	実施責任者
	当社環境経営レポート及び環境活動の状況をホームページにて公開する。		石原 隆雅

※SDGsの取組は、個人により異なります(「私のSDGs」(7～12頁)御参照下さい)。

レポートを読み解くためのキーワード

「ステークホルダーエンゲージメント」って何？

また出てきたよ、横文字が……

「環境報告書は大企業が発行するもの」。この常識を覆すべく、中小企業たる当社が、環境報告書ガイドラインとEA21ガイドラインの二つの要件を満たすおいしい報告書を作っちゃおう！という半ば無謀な計画の下、書き進めてきた報告書もいよいよ終盤戦。ここにきて、また出てきちゃいましたよ、難しい横文字が……。

しかしこのステークホルダーエンゲージメント、調べてみると実は環境への取組やSDGsなどと切っても切り離せない関係の深いもの

らしい……のです。

せっかくの機会ですので、この言葉、一緒にお勉強しちゃいましょう。

ステークホルダーエンゲージメントとは？

「ステークホルダー」は日本語で「利害関係者」(取引先、従業員はじめその企業に関係のある全ての人)と訳され、「エンゲージメント」は「愛着」などと訳されます。

従って「当社と縁ある全ての方々に当社を知って頂き、ファンになって頂くための取組」といった感じになるかと思えます。

8.PDCAで見る2019年度環境活動

お客様の最重要関心事項だからこそ～化学物質管理～

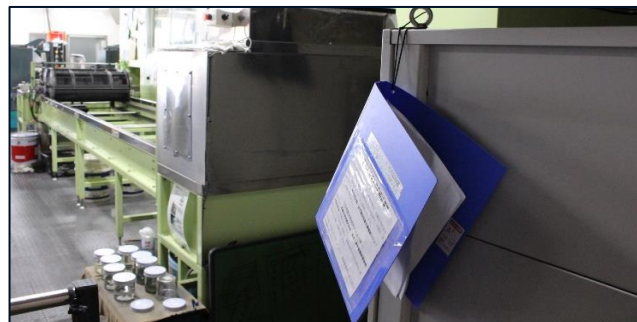
当社の製品を実際にお買い上げ頂く全てのお客様にとって、「化学物質管理」こそ、当社の環境への取組を評価する上での最重要テーマ。

「製品の購入」という形で頂いている期待に全力でお応えするため、当社では以下の様な化学物質管理に関する取組を実施しています。

1) Do 実践 万全な材料・副資材管理

当社はアルミプレス加工専門ですので、材料(アルミ条)と潤滑油、洗浄剤(炭化水素)の3点には、特に注意を向ける必要があります。

当社ではそれらの安全性を担保するため、顧客要請時以外にも、年に一度当該材料・副資材のSDSを請求。最新版を常に使用場所に常備し、間違いの無い製品・副資材の管理に努めています。



使用場所には、最新版のSDSを設置(洗浄室)

2) Do 実践 調査依頼には、迅速に御対応

REACHをはじめ、対象物質の追加等の変化が多く、その都度含有状況の調査が必須となるのが、化学物質の世界。

当社では、調査の御依頼を頂戴した際には、仕入先様と連携し、迅速な御回答に努めています。

2019年度においては、右表の通り、4件の調査御依頼を頂き、全て迅速・丁寧に御回答差し上げました。

年・月	御依頼内容	結果
2019・7	REACH第21次追加物質含有有無調査	不使用
2019・11	環境認定更新(使用全物質の調査)	不使用 認定更新
2020・2	REACH第22次追加物質含有有無調査	不使用
2020・2	使用全材料・副資材の調査(新規顧客様)	不使用

2019年度化学物質調査依頼とその回答結果

3) Do 実践 万全の教育で「誰もが使える知識」に

生産に携わる従業員の全てが実際に扱うことになる材料・副資材。しかし、それを化学物質としてとらえるとなると、その専門性ゆえに、誰もが尻込みしてしまいがち。

そこで、当社ではQC会議において「化学物質教育」のカリキュラムを設定。右のような資料を講師役の従業員が準備し、基礎から徹底した教育を実施。化学物質管理の基本を「使える知識」に高めることを目指しています。

安全データシート(SDS)の項目

JIS Z-7253 - 2012の規定にあるSDSに記載する16項目

(1) 化学品及び会社情報	(9) 物理的及び化学的性質
(2) 危険有害性の要約	(10) 安定性及び反応性
(3) 組成及び成分情報	(11) 有害性情報
(4) 応急措置	(12) 環境影響情報
(5) 火災時の措置	(13) 廃棄上の注意
(6) 漏出時の措置	(14) 輸送上の注意
(7) 取扱い及び保管上の注意	(15) 適用法令
(8) ばく露防止及び保護措置	(16) その他の情報

教育資料より(2019年10月実施分より)

4) Do 実践 最後は、クイズで総仕上げ

最後の仕上げ、とばかりに、法規制教育(毎回クイズ形式)の中で、必ず1問「顧客重視項目問題」を出題。顧客が求める知識の完全定着に努めています(右：2019年7月出題分より、答えは②)。

3. 【顧客重視項目問題】(配点:2点)
RoHS 指令では、禁止物質の含有量の分母は均質素材を用いるという考え方を採用している。
当社コーティングケースを、均質素材に分けると()に分けられる。
- ① アルミ生材のみ
 - ② アルミ生材とコーティングの塗料
 - ③ アルミ生材とコーティングの塗料と潤滑油
 - ④ アルミ生材とコーティングの塗料と潤滑油と洗浄剤

自主性重視で活動を「自分ごと」化～従業員への取組～

従業員は、環境への取組の主人公。その従業員がその気にならなければ、どんなに素晴らしい計画を立てたとしても、良い取組はなり得ません。

当社では、活動の主人公たる従業員に計画の立案や教育訓練の講師など重要な部分の役割も付与。こうしたことを体験して味わった小さな成功体験の積み重ね。これらは必ずや活動の大きな原動力となりうる。当社ではこう考えています。

1) Do 実践 まずは、意見を言える、意見に耳を傾ける環境づくりから

リスク(課題)と機会(チャンス)の抽出。最新版の品質・環境認証では、経営者がこれらを抽出することが取組の出発点と位置付けるこれらについても、全従業員へのアンケートを毎年実施。

最終的に決定するのはもちろん経営者ですが、アンケートを実施することによって、経営者が気づかされることも多いのだとか。また、従業員としては日頃言えない不満や意見を吐き出す絶好のチャンスともなっており、このアンケート、経営者・従業員双方win-winの取組とも言えそうです。

そして従業員の自主性を重視する当社ならではの(?)の取組をもう一つ。それは、年次の環境経営計画策定時、毎年各項目を担当する従業員に「環境施策立案シート」により、今年度どんな取組を実施したいのかという意見を聞き、それを反映する形で環境経営計画を策定しているということ。

もちろん、今回のレポートにて紹介している2019年度環境経営計画も、それら大いに反映。自分で作った計画だからこそ責任を持って取り組める。そんなところなのかも知れません。

2) Do 実践 従業員教育は貴重な「度胸試し」の舞台

元々シャイな従業員が多い当社。言われたことをただこなすことには長けていても、自ら情報を発信する、自らの言葉で意見を述べる能力、すなわちプレゼン能力の育成には力を注がず、またそれを養う術すらありませんでした。

そんな風潮をガラリと変えたのが環境教育。多くの従業員を講師に抜擢し、それぞれ年に数回、自らの担当テーマの資料を作成し、QC会議(当社の定例会議)の場でそれを講義。環境への取組を活用し、プレゼン能力(従業員の度胸)を養う絶好の機会をここに得ることに見事成功しました。

eco検定講座 第66回

森林の持つ機能

1. 緑のダム機能

緑のダムとは、森林がダムのように雨水を蓄積し、ゆっくりと川に流していく機能。

通常、雨が降ると木のない所では、雨水は土と共に地表を流れて行く。

一方、森林では一度落ち葉などで雨水を遮断し、ミズなどの土壌生物によって軟らかくなった土壌が雨水を吸収し、地下水として蓄える。

そして、その地下水がゆっくりと河川にしみ出していくため、濁水を防ぐことができる。また、雨水が地表を流れていくことがあまりないため、一度に河川の水量が増加することを防ぎ、洪水や土砂崩れを予防することができる。

つまり、森林は洪水・土砂崩れ・濁水を防ぐことのできる、素晴らしいダムとしての役割を有している。

2. 空気清浄機としての機能

植物は、水と日光と二酸化炭素を原料として光合成を行う。

また、光合成の過程で、有害ガスも二酸化炭素と同時に空気中から取り込み、無害化することができるため、光合成を行うだけで大気を浄化することができる。

丁寧に作りこまれた教育資料(eco検定講座)

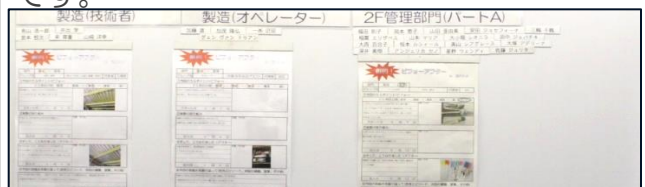
3) Do 実践 小さな行動の積み重ねで会社を変える～全員参加の5S～

「どうせやっても何も変わらない」、「毎月1個以上なんてとても無理」そんなネガティブワードのオンパレードを押し切り、2014年1月に強引にスタートさせた全員参加の5S活動。2019年度には無事5年目に突入しました。

当初のネガティブ感はどこ吹く風といったところでしょうか。今では社員、パート従業員を問わず自主的に行動。社内多くの場所の美化や作業効率の改善に貢

献しています。

この5S、社内の活性化と従業員の成長に一役も二役も買う活動となり得たと言えますです。



掲示板で取組結果を報告

8.PDCAで見る2019年度環境活動

丁寧な情報開示で広げる環境への取組の輪～世界中の皆様

当社では、活動当初より環境報告書(環境活動(経営)レポート)における丁寧な情報開示に努めてきました。実際にレポートをお読み頂き、当社の活動にご興味をお持ちになった自治体様、団体様、教育機関様等が主催される数々のセミナー等にて事例発表の大き役を頂戴したこともあります。

小さな会社が出す拙いレポートに秘める発信力にただただ驚くばかり、というのが本音ですが、それぞれの団体様が主催される大切なイベントにお招き頂き、発表のチャンスを頂けたことには、感謝以外の言葉が見つかりません。今まで当社をお招き下さった各団体の皆様、本当に、ありがとうございました。

1) **Do** 実践 丁寧な開示と多様な媒体による公開(環境経営レポート)

環境報告書(環境経営レポート)は企業の環境活動の顔。どんなにお化粧をしたところで、所詮は下手な化粧。社内の様子、活動の状況、レポート制作者の人となり……、どれも「すっぴんの美しさ」(?)を味わって頂くべく、丁寧に記述しています。こうして完成したレポートの公開の場は、主にウェブサイト。当社では自社ホームページだけでなく、ea21中央事務局ウェブサイト(エコアクション21認証全事業者のレポートが閲覧できます)、更に国内企業の環境報告書を閲覧できるサイト「CSR図書館.net」においても、レポートを公開し、多くの方々にご覧いただけるように努めています。

それぞれの閲覧方法は以下の通り

当社ホームページ(右上)

<http://yashio@rai-hatome.co.jp>

画面右下「ニュース」よりご覧になりたい年度のPDFファイルをクリックすれば閲覧できます。

2011年版～2019年版までの閲覧が可能です。

ea21中央事務局ウェブサイト(右中央)

www.ea21.jp/

トップページ→認証・取得された事業者の方へ→環境経営レポートについて(右画面)検索欄「認証・登録番号(0005644)」または「事業者名(来ハトメ工業)」と入力し「上記の内容で探す」をクリック。

2019年版のみご覧いただけます。

CSR図書館.net(右下)

csr-toshokan.net/

トップページ下の「報告書検索」に「来ハトメ工業株式会社」と入力し「検索」をクリック

2015年版～2019年版までのレポートを閲覧可能です。



に向けた取組～

ここでは、当社の情報開示の基本姿勢とそれがご縁でお招き頂いた各セミナー(2019年度開催分)における事例発表の様子、そして実際の事業者様との交流を通じた活動の一端などをご紹介します。

タイトルに「全世界の皆様」とちょっと大げさにも見える言葉を使ってみました。環境への取組を10年継続し、レポートを通算10度発行し続け、意外にも多くの方々にお読み頂いたことに気づいた今、それも大げさではないのかな、と思う気持ちもあります。

自らオープンにすれば、自ずと道は開けるもの。そこにはたぶん、「中小企業だから……」とか「環境初心者だから……」って、関係ないのかも知れません。

2) **Do** 実践 当社初「40人規模」の工場見学受入れ

彩の国工場振興協議会環境対策分科会様が毎年実施されている工場見学会。9月に埼玉県の担当者様より受入れ依頼のお話を頂戴し、11月28日、晴れて実現の運びとなりました。

受入れ人数は、実に約40名。これだけ大規模の受け入れは当社史上初。しかし、全従業員と事務局の皆様、そして当社に足を運んで下さった御見学者様のご協力頂きましたおかげで、大規模イベントを成功裏に終わらせることができました。

写真上：SDGs活動事例発表の様子

写真右：4班に分かれて工場見学

写真左：当社歴代のレポートなども展示



3) **Do** 実践 SDGsの仲間が増えることを願って～事例発表～

幸運なことに、2019年度も様々な団体様よりお声がけ頂き、年間7度もの事例発表の機会を頂くことができました。

この場でご紹介させて頂く「私のSDGs」の取組は好評。嬉しいことに、実際に当社に倣って実践される事業者様もいらっしゃるとか。

これからも、SDGsの入り口で戸惑っておられる方の背中を優しく押して差し上げる活動も、チャンスを頂ける限り、続けていきます。



事例発表の一コマ(2019年11月26日)

番外編 こんな、びっくりな「出会い」も

「石原さんにお会いしたかったんですよ！」セミナー控室に突然現れた、ハイテンションな方……。なんと、お笑いコンビ「アンカンミンカン」の富所哲平さんではないですか！聞くと、当社のレポートをコントのネタに採用して下さっている！のだとか……。

「これからもいいネタ提供しないと!!」私の中に新たな決意を奮い立たせるステキな出会いの一幕のご紹介、でした。



富所哲平さんと記念撮影(2020年2月4日)

8.PDCAで見る2019年度環境活動

ハッピーな未来への「予防」と「種まき」～未来に向けた

ここまでお伝えしてきた当社の様々な環境への取組。その最後は生物多様性、SDGs、ボランティアといった、当社が行う未来への「予防」と「種まき」のための活動の一端をお伝えして締めくくりたいと思います。

今回のレポートの目玉企画(?)のシナリオ分析。ここでは2030年、当社を取り巻く市場が今より拡大していることを想定しています。そのためには、未来の人間の営みが今よりも良い状況で回っていることが必須条件。環境破壊、生物多様性の枯渇、貧困などといった今想定されている様々なリスク、もしこれらが顕在化し、人類に何らかの形で影響を与え始めたとしたら……。未来のシナリオはとんでもなく後退してしまうことでしょう。まさに今我々が経験しているコロナショックのように……。

1) **Do** 実施 生物多様性のリアルな現状をクイズで学ぶ(生物多様性)

生物多様性という、名前だけ聞いてもとてもとっつきにくいテーマをやさしく伝えるにはどうすべきか?様々なことを試し、たどり着いたのは右のようなクイズ形式での学習。

教える前にクイズというちょっと乱暴な感じのする方式ですが、講義形式よりもこちらの方が集中してもらえ、何より知識の定着が良いようです。

第 83 問(復習問題、2 ポイント)
地球には、その誕生時点から、現在とほぼ同じ量の酸素が存在していた。
① ○ ② ×

第 84 問
次の内、外来種でないものはどれか。
① アライグマ ② ミドリガメ ③ ススキ ④ オオキンケイギク ⑤ ハクビシン

第 85 問
ブラックバス(特定外来種)が釣れたので、自宅の水槽で飼育するために持ち帰った場合、逮捕される可能性がある。
① ○ ② ×

生物多様性クイズ(2019年10月実施分)
答えは上から②、③、①

2) **Do** 実施 社屋付近の自然に目を向け、変化をとらえる(生物多様性)

生物多様性関連の取組として2012年から続けているのが、会社に隣接する水路の定点撮影。公共の用水路ですので当社の敷地というわけではありませんが、当社が生態系に与える影響を測る指標にはなり得るのではとの考えから、3か月に1度の定点撮影を継続しています。

幸いなことに、当社が自然に悪影響を与えているということについては今のところ見えてきていませんが、観察を続けると、看過できない外来種の問題が会社のすぐ近くで起こっていることに気づかされます。

その例が右の2枚の写真。上が2012年7月、下が2019年7月の同じ場所を撮影した写真。

近年夏になると出現する、まるい葉っぱが特徴的な浮草……。調べてみると、「生態系被害防止外来種リスト」(平成28年3月環境省、農林水産省発行)にて重点対策外来種に指定されている、アマゾンフロッグピット(南米原産)という名の外来種であることが分かりました。

身近に迫る外来種——。観察を継続していくことはもちろん、外来種に関する社内教育をこれからも続けていきます。



用水路定点撮影(上:2012年7月、下:2019年7月)
近年、夏になるとアマゾンフロッグピット(拡大部)が出現する

さまざまな取組～

そのために今私たちにできることはリスクへの「予防」とチャンスへの「種まき」。これに尽きるのではないかと考えます。

しかし、これらの活動は、ややもすれば「時間の無駄」、「本業とかけ離れている」として扱われがち。でもちょっとだけ考えてみましょう。もし人の住めないような環境になったら、自分達の作ったものは買ってもらえるんですか？ 貧困者が増えた社会で、モノは売れるんですか？

それでも、「こんな活動は時間の無駄で本業とはかけ離れている！」って言えるんですか？ 現状だけ見たら関係なさそうでも、マイナスの未来を見れば取り組む意味が見えてくる。地味でも着実に、こうした活動を続けていこうと思います。そうです、未来は今の行動の積み重ねで作られるものなのですから。

3) Do 長く続けることの難しさを超えて(ボランティア)

当社が現在会社として取り組んでいるボランティア活動は、2012年にスタートした八潮市防火安全協会主催環境ボランティア(右写真)と2014年から開始したペットボトルキャップ収集を通じたワクチンの寄付。どちらも、長く続けることは思いの外難しい活動です。

しかし、どちらの活動についても、2019年度も見事継続。特に、ペットボトルキャップ収集にあっては、従業員が自身の家族や、地元で属する団体の仲間にも声をかけるなどして積極的に収集。その結果2019年度末までに46名分の命を救う活動となったことは一つの誇りでもあります。規模は小さいですが身の丈に合ったボランティア活動、これからも継続していきます。



大切なのは、細く長く続けていくこと
八潮市防火安全協会主催環境ボランティア

4) Do SDGsをもっと広めるために(「月刊 まいにちSDGs」の発行)

社内の環境活動をSDGs化すること、「私のSDGs」で実生活の中でSDGsを学ぶこと、それから毎月、事務局がSDGsに関する社内情報誌を発行することが、当社のSDGs3本柱。

その中で、事務局を最も悩ませる活動と言え、間違いなく社内情報誌「月刊 まいにちSDGs」の発行。大変すぎて、いつも発行日が月末ギリギリになっていたり、「まいにち」と銘打っておきながら、バリバリの月刊誌だったり突っ込みどころ満載ではありますが、創刊から2019年度末まで、見事月刊体制を貫けている状態!すごい!!

とSDGs事務局兼当レポートライターの私、誌上で自分自身勇気づけ、困難な月刊体制の維持を誓うのでした……。

月刊 まいにちSDGs
～SDGsを使いこなす企業となるための情報誌～
2019年9月30日発行(巻第22号)
来ハトメ工業㈱E21事務局 SDGs推進委員発行

<p>SDGsアイコン特集</p> <p>今まで当情報誌内で、SDGs17の目標それぞれに与えられているアイコンとそれを関連する行動についてご紹介を重ねてきた。</p> <p>従来、各回1個ずつの紹介に留めていたが、今回はそれを拡大。誌面の許す限り、アイコン解説、進めてみようと思ふ。</p> <p>それでは早速「目標13」から</p>	<p>当社全従業員で取り組んでいる「私のSDGs」においても「節電」、「エコドライブ」として、積極的に取り組まれている。</p> <p>次は「目標14」</p>
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p> <p>これは従来エコアクション21を通じて取り組んでいた「CO2削減の取組」と密着に結びつくため、大変分かりやすい。</p> <p>二酸化炭素をはじめとする温室効果ガス削減に結びつく取組がそのままこれに当てはまる。従って、「節電」、「エコドライブ」、「低消費電力家電」、「エコカーへの買い替え」など、従来の環境活動でなじみの深い活動を数多く盛り込んでいるのが、この「目標13」なのである。</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう</p> <p>これは従来の環境活動の枠組みで取り組もうとするとちょっと難しいが、「食を通して海洋生物の生物多様性保全に協力するMSC認証の海産物を積極的に食べるようにする」、「海の生物の保全活動を行う団体を、機会を通して支援する」など、個人レベルでできることを探してみよう。結構できそうなのが多いことに驚かす。</p> <p>それから、現在の環境活動(7)で最も難しい活動「マイクロプラスチック」に関する活動も、海の生物を守るための行動であり、この「目標14」を関連する行動であるともいえる。</p> <p>「家族で海や水族館に行き、海洋生物を守るためにできることについて家族で考える」など面白いかも知れない。</p>

編集後記
秋、ですわー。秋と言えば「読書の秋」。
諸君を通じてSDGsについての知識を深める秋、にしてみよーかなー……。

「月刊 まいにちSDGs」

8.PDCAで見る2019年度環境活動



その他の環境活動の取組の評価と次年度の取組内容

活動概要	関連SDGs	評価点	寸評、次年度以降の取組内容
サプライヤーに対する化学物質アンケートの実施		10点	2020年2月に実施。 次年度も実施。
SDSの最新版のコピーを化学物質使用場所に設置		10点	各使用場所にSDSの最新版を設置済。 次年度も継続。
社内使用化学物質が法令類非該当であることの確認		10点	2020年2月に確認。 次年度もアンケートと共に実施。
社内使用化学物質に関する教育の実施		10点	計画通り年2回実施。 次年度も年2回実施予定。
エコ替えの提案と導入		10点	洗浄場チラーの冷却装置を設置。 次年度は一部に残る従量電灯B契約のグリーン電力化を検討。
環境系、労務系資格取得支援		10点	テキスト代、受験料、交通費を支援(1名利用)。 次年度も継続。
省エネ診断の受診		10点	2019年6、8、11月に実施。 次年度も申込予定。
eco検定講座の実施		10点	目標12回、実施12回。 次年度も12回(月1回)の実施を計画。
環境系セミナー情報入手と案内		10点	9月、11月のセミナーを案内、実際に参加。 次年度も実施。
製造現場の作業に関連付けた環境教育実施		10点	毎月実施。 次年度も毎月実施を計画。
2F作業現場の業務に即した環境教育の実施		10点	毎月実施。 次年度も毎月実施を計画。
備品の価格表記と管理の徹底		3点	持ち出し時の記入はされているが、データ活用については次年度の検討課題。
生物多様性に関する教育		10点	目標4回実施4回(計画通り)。 次年度も年4回実施予定。
社内使用紙製品の森林認証品への切替		10点	購買担当者が確実に意識し購入。 次年度も継続。
用水路における定点撮影		10点	年4回確実に実施。 次年度も継続。
定点撮影の結果分析		5点	不十分だが外来種の観察を一部実施。 知識習得が課題。

活動概要	関連SDGs	評価点	寸評、次年度以降の取組内容
八潮市防火安全協会主催環境ボランティアへの参加	  	9点	参加忘れ1度発生。 参加忘れ防止方法を検討の上、次年度も実施。
環境ボランティア実施状況報告	 	5点	報告漏れあり。 次年度は報告漏れを無くすための方法を検討。
ペットボトルキャップ収集・寄付	  	10点	全ての従業員が収集に協力。 次年度も継続。
5S活動の実施	 	10点	確実に実施され、新5S事務局も正常に機能。 次年度も同様の回数、体制にて継続。
5S活動の記録及び掲示による活動活性化推進	 	10点	新事務局が工夫しながら毎月実施。 次年度も同様の体制にて継続。
SDGsに関する個人目標への取組		7.9点	「私のSDGs」参照。 2020年度も「私のSDGs」継続実施中。
SDGsに関する情報発信及び啓発活動	 	10点	情報誌毎月発刊を何とか維持。 情報誌は次年度も毎月発刊予定。
環境経営レポートのウェブサイトにおける公開		10点	2019年7月に公開。 次年度も更新審査終了後に公開予定。



代表者の評価・指示

事の大小、行動の遅速に関係なく、続けることは価値のあるものだ、このレポートを読んでつくづく感心させられる。「継続は力なり」という言葉があるが、私に言わせてもらえば「継続は進歩の源なり」と言いかえることができると思う。どんなことでも、イヤイヤでも、わずかずつでも続けていけば、続けること自体に面白みが出てきて、他人の手の届かない高みに達し、やがては自分の財産になると期待している。

8.PDCAで見る2019年度環境活動

SDGsで見る2019年度環境活動総括

Check 2019年度環境経営計画SDGs評価点採点結果

ここでは、当社の2019年度の環境活動計画をSDGs化した場合、各ゴールに該当する活動がそれぞれどのくらいあったかを集計したものです。

NO.	アイコン	SDGs目標	具体的施策	取組数	※合計数
1		貧困撲滅	募金 ボランティア	1	1 (1)
2		食糧問題解決	食べ残し防止	0	0 (0)
3		健康	禁酒、禁煙、運動 労働安全	7	7 (4)
4		教育	学習	31	31 (29)
5		男女平等	家事分担	2	2 (2)
6		水	水質汚濁防止 節水	9	9 (9)
7		エネルギー	クリーンエネルギーへの転換	5	5 (5)
8		経済成長、労働	雇用 売上目標達成	0	0 (0)
9		インフラ、産業化	生産 不良削減	7	7 (9)
10		不平等是正	賃金改善 外国人差別改善	0	0 (0)
11		都市、居住	住宅購入 防災、SDS	12	12 (13)
12		生産、消費	グリーン調達 廃棄物、CSR	28	28 (27)
13		気候変動対策	温室効果ガス削減	19	19 (19)
14		海洋保全	海洋汚染防止 生態系保護	3	3 (1)
15		陸域保全	生態系保全 砂漠化対策	6	6 (6)
16		平和、司法	戦争撲滅、政治参加 コンプライアンス	12	12 (9)
17		パートナーシップ	企業間協力 諸団体活動への参画	3	3 (0)
取組SDGs合計数				145	

※合計数の()内の数字は前年度実績を表します。

取組SDGs数に関する振り返りと次年度以降の課題

SDGs取組数の振り返り

昨年度よりアイコンベースで11個増加。取り組めていなかった項目の内、17(パートナーシップ)に関する取組を取り入れられたことは、大きな進歩です。しかし、3項目は未だ目標に取り込めていない状況。その部分が大きな反省点と言えます。

次年度以降の課題

取組がなされていない2(食糧問題解決)、8(経済成長、労働)、10(不平等是正)を既存の活動の中でどのように盛り込むか、考えなければなりません。これら3項目を既存の活動の中で当社の発展に生かすためには何をすべきかという観点で、考えてみることにします。

9.代表者レビュー

Act 1) 全体的な感想

環境管理責任者は、その名の通り、責任を持って実によくやっていると思う。彼の真剣さが全社員に伝わって、全員が協力して良い仕事ができているのだと思う。

個別の項目毎の評価と指示内容については、20～52頁を参照下さい。

Act 2) 指示

① 環境経営方針

2020年3月に、全従業員を対象として実施した「当社が抱えるリスク(課題)と機会(チャンス)アンケート」において、気候変動に伴う昨今の洪水被害を上げる声が多数見られた。

また、時節柄、新型コロナウイルス蔓延を当社のリスクとする意見も大半の従業員から寄せられていたのも印象的である。

こうした事象への対応は急務であり、当然環境経営方針に盛り込むべきものと考えるが、緊急事態への対応についても、リスクへの対応についても、現行の環境経営方針の中に近い文言が見られる。

従って、今年度については、環境経営方針の変更は行わず、環境経営目標及び環境経営計画に反映させ、これらへの対応を取ることとする。

② 環境経営目標及び環境経営計画

2020年度に対応を検討すべき事項が3点ある。

まず、環境経営方針のところで触れた通り、洪水や新型コロナウイルスは当社にとって大きなリスクとなり得るものであり、これらへの対応は急務であると考え。緊急事態の想定、対応策にこれら2点を追加、対応を検討のこと(環境管理責任者にとっては、当年発行のレポート作成終了後すぐ対応のこと)。

次に電力について。当社の敷地の内、2007年に購入した部分については従量電灯B契約であり、現状、同一敷地内で2契約存在するという状況になっている。

その内、工場用の高圧電力については、CO₂排出係数0のグリーン電力だが、従量電灯B契約の方は、使用量はわずかながら、通常のCO₂排出係数有の電力である。これについては、契約を高圧に一本化する、従量電灯Bについてもグリーン電力事業者からの購入に切り替える等することで、社内の購入電力の全てをグリーン電力化することを検討すること。

最後に昨年度の環境経営計画には、「リスクアセスメント」や「作業環境測定」といった、大変難しそうなものも盛り込まれていた。活動を発展させるために新しいことを取り入れることは大いに結構であるが、全く実施されないのでは意味がない。策定時において、例え現状よりも多忙な状況になった場合においても実施可能なものであるか、よく考えた上で計画を策定すべきである。

以上を踏まえ、次年度以降の目標として、以下の指標を設定する。

2020年度は、年初から新型コロナウイルスの影響を大いに受け、不安定な状況でのスタートとなっている。「不安定だから環境への取組は二の次」では困る。こんな時こそ、地に足の着いた取組となることを、大いに期待したい。

CO₂排出量の削減目標

項目	※削減目標				
	基準年度	2020年度	2021年度	2022年度	2030年度
CO ₂ 排出量	2013年度	32.0%削減	33.8%削減	35.6%削減	50.0%削減

CO₂排出量については、電力事業者変更の恩恵により、2019年度実績が8,585kg-CO₂と大幅達成。非常に良好に推移している。

しかし、現状新型コロナウイルスの影響もあり、いつ背に腹は代えられぬ状況になるかも分からない。そうしたことから、大幅達成の状況であるが、この目標はそのまま維持するものとする。

※(環境管理責任者追記)削減目標の根拠について

CO₂排出量については、まず、国の地球温暖化対策計画(2016年5月策定)に基準年度とゴールを合せる形で目標設定することとしました。

CO₂排出量の目標値のスタートラインを、当社2015年度CO₂排出量の実績値(251,277kg-CO₂)とし、それを上記の目標年度(2030年)までの15年間で半減させることを目標に、取り組むこととしました。

尚、2020年度以降の各年度の目標値は、2013年度の実績値である326,337kg-CO₂から2030年度までの目標値(163,168.5kg-CO₂)を減算し、その数値をスタートから目標年までの年数(15年間)で均等割りすることで、各年の年間目標値として設定したものです。

その他の項目削減目標

項目	基準年度	※削減目標		
		2020年度	2021年度	2022年度
電力	2015年度	原単位△5%	原単位△6%	原単位△7%
灯油 *	2010年度	原単位△6%	原単位△7%	原単位△8%
LPG	2010年度	原単位△10%	原単位△11%	原単位△12%
ガソリン	2018年度	総量△2%	総量△3%	総量△4%
事業系一般廃棄物	2014年度	総量△5%	総量△6%	総量△7%
産廃(廃ウエス) *	2017年度	総量△1%	総量△2%	総量△3%
紙くず(リサイクル率)	2010年度	9%向上	10%向上	11%向上
廃アルミ	2010年度	原単位△10%	原単位△11%	原単位△12%
水 *	2015年度	原単位△3%	原単位△4%	原単位△5%
炭化水素	2017年度	原単位△3%	原単位△4%	原単位△5%
潤滑油	2010年度	原単位△9%	原単位△10%	原単位△11%
グリーン調達率 *	—	83%以上	84%以上	85%以上

※(環境管理責任者追記)削減目標について

- 昨年度未達の項目(*)については、前年度(2019年度)の目標値をスライドしています。
- 削減目標に「原単位」とあるものの原単位については、下記の原単位を目標値とします。

電力、廃アルミ、潤滑油(ラタック) : 洗浄袋数(調整)原単位
当レポート24頁参照。

炭化水素 : 洗浄袋数(調整不要)原単位
(使用量(ℓ)÷洗浄袋数(袋))

LPG、灯油 : 稼働日原単位
(使用量÷稼働日(日))

水 : 稼働時間原単位
(使用量(m³)÷稼働時間(h))

③ 実施体制

今年度は変更しないものとする。